KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

U717

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

© B64-3392-00/01 (JW)

Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

ここを読めば、ひととおり操作できます。

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

本書の読みかた
安全上のご注意
メディアの取り扱い
USBデバイスについて

Basic Operation

Radio Listening

CD & Audio file Listening

Name Set

Audio Control

Display Control

Menu

TV Control

Remote Controller

Help?

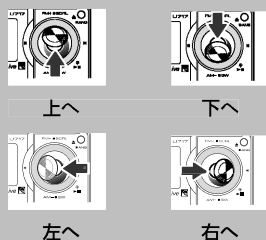
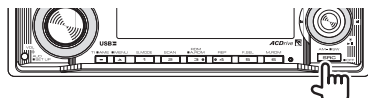
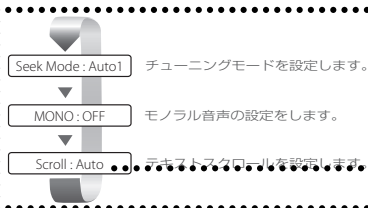
取り付け時のご注意
接続
取り付け

「オーディオファイル」とは？

本書に書かれている「オーディオファイル」や「Audio file」とは、USBデバイスやCD-R/RWに記録されたAAC, MP3, WMAファイルのことです。詳しくは「オーディオファイル」(p58)をご覧ください。

本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

短く押す

で示したボタンをチョンと押す。

1秒以上押す

で示したボタンまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
左記では1秒間押すことを示しています。
押す秒数は矢印の中の表示を目安にしてください。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

ディスプレイ表示

その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。

特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。

その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。

インジケーター表示について

本書に「＊＊インジケーターが点灯します。」と説明されている場合があります。インジケーターが表示されるには下段テキスト表示部に"Status"が選択されている場合のみです。表示の選択方法については「Display Control」（p38）をご覧ください。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注 意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

禁 止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実 施

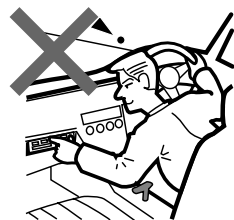
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

実 施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

● カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSBデバイスの取り付け・取り外しなど）

実 施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実 施

USBデバイスは運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

禁 止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

USBデバイスのご使用上の注意

USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。

●

本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

●

本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「USBデバイスについて」（p11）を参照してください。

U717に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

●

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

●

"O-N"スイッチの付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S210A"を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を１台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「接続」（p74）および、KCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、ラジオソースにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

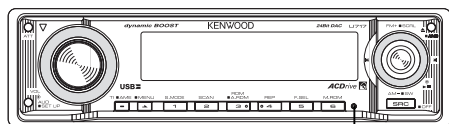
異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」（p62）および「Help? Error」（p70）を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

●

リセットボタンを押す前に、USBデバイスを取り外してください。

USBデバイスを取り付けたままリセットボタンを押すと、USBデバイスのデータが破損する場合があります。USBデバイスの取り外しかたは「USBデバイスを取り外します」（p15）をご覧ください。

●

リセットボタン

●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに"AUX　EXT"と表示される。
- KCA-S210A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに"AUX EXT"と表示される。

デモンストレーションモードについて

本機の機能をディスプレイに表示するデモンストレーションモードがオンになっています。本機を使用する前に、必ずデモンストレーションモードをオフ（p49）にして使用してください。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。

●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

マークの付いていないCDは使用しないでください。

前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●

インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-RやCD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

使用できるリモコンについて

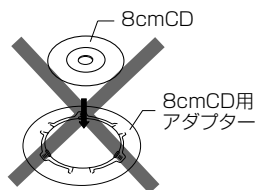
本機で使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

メディアの取り扱い

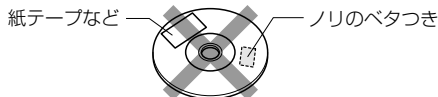
CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です）

●

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。
取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

●

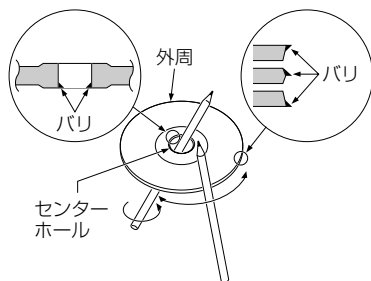
記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCDが取り出せなくなったり、故障することがあります。

CDの保存

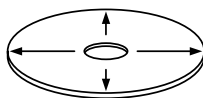
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-RやCD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

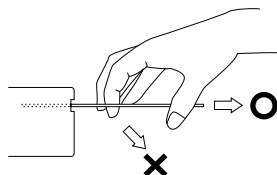
●

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

USBデバイスについて

U717では、USB端子を持つフラッシュメモリーやデジタルオーディオプレーヤー（本書ではこれらを総称して「USBデバイス」と呼んでいます）に記録されているオーディオファイルをプレイできます。
ただし、使用できるUSBデバイスの種類や使用方法には以下のような制限があります。

使用できるUSBデバイス

- 「USBマスストレージクラス」のUSBデバイス
- 最大消費電流が「500mA」以下のUSBデバイス
  対応フォーマットや詳細な対応機器についてはURL：http://www.kenwood.com/usb/をご覧ください。

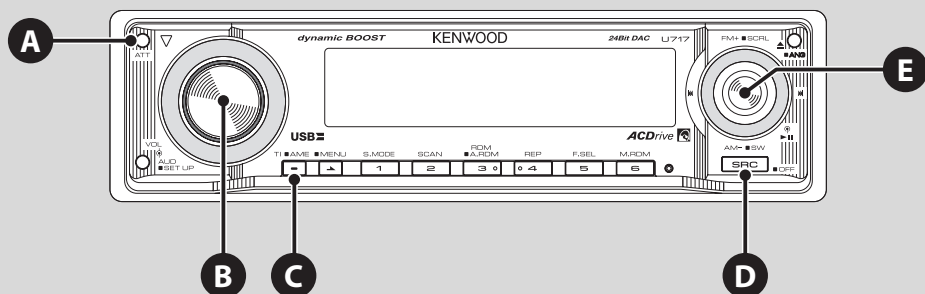
- 「USBマスストレージクラス」
  特別なドライバーやアプリケーションソフトを使用せずに、外部ストレージとしてPCが認識できるUSBデバイスです。
- 使用するUSBデバイスがUSBマスストレージクラス規格に対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
- 上記外のUSBデバイスを使用すると、オーディオファイルのプレイや表示が正常にできないことがあります。
  また、上記規格に準拠したUSBデバイスを使用していても、USBデバイスの種類やコンディションになどにより、正常にプレイできない場合があります。

USBデバイスの延長接続について

USBケーブルを延長してUSBデバイスを接続するときは、CA-U1EX(別売品)の使用を推奨します。
USB規格以外のケーブルを使用した場合は動作保証できません。ケーブルの総延長が５m以上になると正常にプレイできない場合があります。

- USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。

Basic Operation

共通操作

Ⓓ 電源をオン/オフします

押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

Ⓑ 音量を調整します

Ⓐ 音量を素早く下げます

押すと、音量が小さくなります（アッテネーター）。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

- アッテネーターの動作中には ATT インジケーターが点滅します。

Ⓒ 交通情報を聴きます

押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。

- コントロールノブⒺを左右に動かすと、交通情報の周波数（522kHz/1620kHz/1629kHz）を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にボリュームノブⒷで音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

デモンストレーションを解除について

- 使用される前にデモモードを解除する必要があります。詳しくは「デモンストレーション設定」（p49）をご覧ください。

時計・日付の調整について

- 時計や日付の調整はメニュー設定で行います。詳しくは「時刻合わせ」（p46）、「日付合わせ」（p47）をご覧ください。

注 意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

D

ソースを切り替えます

押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。

FM/AM放送を受信します。（p16、p18）

USBデバイスのオーディオファイルをプレイします。（p14、p20）

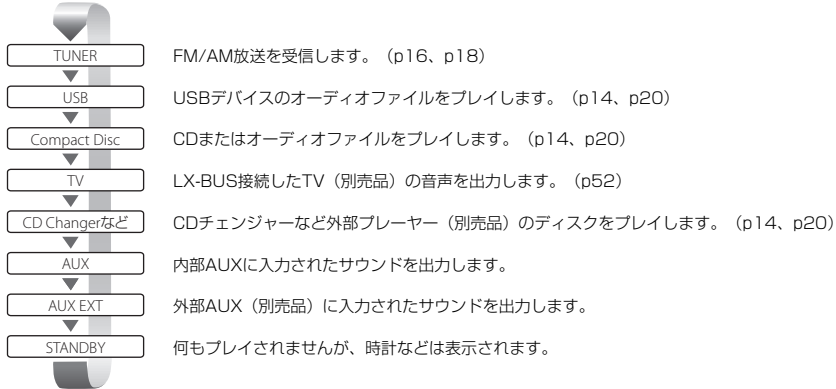
CDまたはオーディオファイルをプレイします。（p14、p20）

LX-BUS接続したTV（別売品）の音声を出力します。（p52）

CDチェンジャーなど外部プレーヤー（別売品）のディスクをプレイします。（p14、p20）

内部AUXに入力されたサウンドを出力します。

外部AUX（別売品）に入力されたサウンドを出力します。

何もプレイされませんが、時計などは表示されます。

- CDが挿入されていないときや、CD/MDチェンジャーが接続されていないときは、それぞれのソースには切り替わりません。
- CDまたはオーディオファイルのディスクを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。
- プレイできるオーディオファイルの詳細については、「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。
- 外部プレーヤーを選択時は、CDチェンジャーは“CD Changer”、MDチェンジャーは“MD Changer”、HDX-710などの音楽ファイル（KSF）ソースは“HDD EXT”と表示されます。
- HDX-700/710などの音楽ファイル（KSF）のプレイのしかたは「CD & Audio file Listening」(p20)をご覧ください。
- TVユニットなどでは、USBソースはCDソースと認識され、表示や音声案内でもCDソースとして扱われます。
- 内蔵AUXソースに切り替えるには、「メニュー設定」（p42）の“Built in AUX”項目を“ON”に設定している必要があります。
- 外部AUX入力モード（AUX EXT）を使用するためには、別売品のKCA-S210A、CA-C1AXまたはCA-C2AXが必要です。
- AUX表示やKCA-S210Aを使用したAUX EXT表示は「AUXネーム選択」（p29）で替えることができます。

B

音質などを調整します

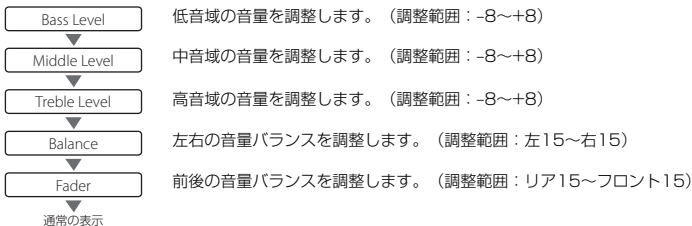
ノブを押して調整項目を選び、次にノブを左右に回して調整します。
調整項目は次の順に切り替わります。

低音域の音量を調整します。（調整範囲：-8〜+8）

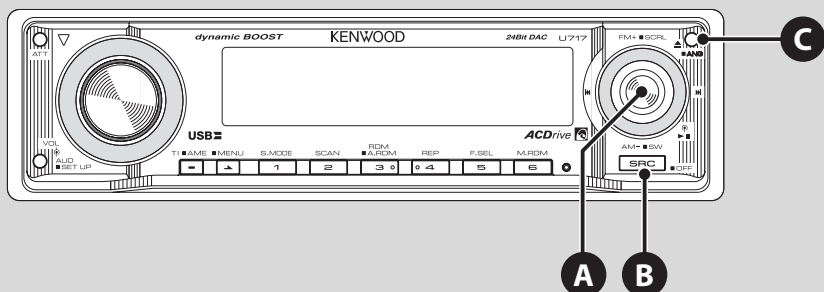
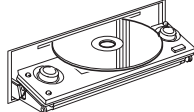
中音域の音量を調整します。（調整範囲：-8〜+8）

高音域の音量を調整します。（調整範囲：-8〜+8）

左右の音量バランスを調整します。（調整範囲：左15〜右15）

前後の音量バランスを調整します。（調整範囲：リア15〜フロント15）

- 音質調整は各種の設定により表示される項目が変わります。また、より詳細に設定することもできます。詳しくは「オーディオコントロールの詳細設定」（p32）をご覧ください。
- プレイする音楽のジャンルにあった音質に簡単に設定することもできます。詳しくは「イコライザーカーブの呼び出し」（p31）をご覧ください。
- A、B、C、Dまたは ▲O ■ANG 以外のボタンを押すと、すぐに通常の表示に戻せます。

CDやオーディオファイルを聴く

C

CDをプレイします

イジェクトボタンⒸを押し操作パネルを開きます。
CD挿入口にCDを挿入すると、操作パネルが閉じます。
差し込んだCDがプレイされます。

CDを取り出します

イジェクトボタンⒸを押します。操作パネルが開きCDが排出されます。

- CDは水平に差し込んでください。
- CDが入っているときには IN インジケーターが点灯します。インジケーター表示は「上段/下段テキスト表示設定」（p38）を参照して表示項目に設定してください。
- CDがすでに入っているときには、 SRC ボタンⒷでCDソースに切り替えるとプレイされます。
- 通常のCDのほかに、オーディオファイルが収録されたCD-R/CD-RWをプレイできます。
  プレイできるオーディオファイルの種類、フォーマット、書き込み方法などの詳細については、「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。
- その他、CDやオーディオファイルのいろいろなプレイ方法については、「CD & Audio file Listening」（p20）をご覧ください。
- ACDriveメディアをプレイしているときは音声ガイドがされます。音声ガイドは消すこともできます。「メニュー設定」（p42）の“Voice Index”項目を“OFF”に設定してください。

注 意

操作パネルを開いたときにシフトレバーなどと干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

- 開いている操作パネルには無理な力をかけないでください。

Ⓑ

USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします

SRC ボタンⒷでUSBソース以外に切り替えます。
USBデバイスを接続します。
SRC ボタンⒷでUSBソースに切り替えるとプレイされます。

USBデバイスを取り外します

SRC ボタンⒷでUSBソース以外に切り替えます。USBデバイスを取り外します。

- USBデバイスを接続していないときに、USBソースにすると、"No Device"と表示されます。
- プレイをストップしたあとで、再びプレイするとストップした位置からプレイを再開します。USBデバイスを取り外した場合でも、USBデバイスの保存内容が変わっていなければ、ストップした位置からプレイを再開します。
- プレイできるオーディオファイルの種類などの詳細については、「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。
- 使用できるUSBデバイスの種類や接続方法については、「USBデバイスについて」（p11）をご覧ください。
- USBデバイスのコネクターは、奥まで確実に差し込んでください。
- その他、オーディオファイルのいろいろなプレイ方法については、「CD & Audio file Listening」（p20）をご覧ください。
- ACDriveメディアをプレイしているときは音声ガイドがされます。音声ガイドは消すこともできます。「メニュー設定」（p42）の“Voice Index”項目を“OFF”に設定してください。
- USBデバイスは、電源オフ時でも安全に取り外せます。

USBモード中にUSBデバイスを取り外すと、USBデバイスのデータが破損する場合があります。

Ⓐ

早送り/早戻しします

コントロールノブⒶを右に押し続けると、押している間、曲が早送りされます。また、コントロールノブⒶを左に押し続けると、押している間、早戻しされます。

- オーディオファイルをプレイしているときは、早送り/早戻し中に音は出ません。
- AACファイルによっては、早送り/早戻しできないことがあります。
- KSFをプレイ中は、早送り/早戻しできません。

Ⓐ

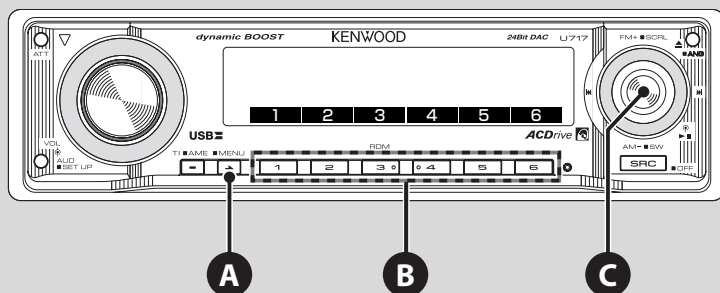
プレイする曲を選びます

コントロールノブⒶを右に動かすと、次の曲がプレイされます。
コントロールノブⒶを左に動かすと、プレイ中の曲の先頭／前の曲がプレイされます。

Ⓐ

プレイ/ポーズします

コントロールノブⒶを一度押すと、プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

ラジオを聴く

C

バンドを切り替えます

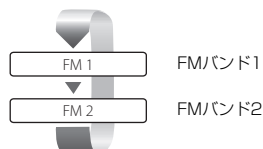
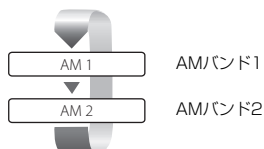
コントロールノブCを上に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。

FMバンド1

FMバンド2

コントロールノブCを下に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。

AMバンド1

AMバンド2

- ステレオ受信中は ST インジケーターが点灯します。インジケーター表示は「上段/下段テキスト表示設定」（p38）を参照して表示項目に設定してください。
- その他、ラジオのいろいろなプレイ方法については、「Radio Listening」(p18)をご覧ください。

C

放送局を選択します

コントロールノブ❸を左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に受信します。

- チューニングモードによって、周波数を１ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信することができます。詳しくは「チューニングモード」（p19）をご覧ください。

B

プリセット局を受信します

ボタン❹を押してマルチキー表示に“1”から“6”を表示します。
ボタンを押すと、押したボタンにメモリーされている放送局を選局します。

- ❺でのプリセットチューニングは、あらかじめ各ボタンに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」（p18）または「マニュアルメモリー」（p18）をご覧ください。
- マルチキー表示については、「Help?　Multi　Key」（p61）をご覧ください。

Radio Listening

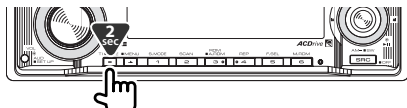
FM/AM放送を受信します。また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

- 基本的なFM/AM放送の聴きかたは「ラジオを聴く」（p16）をご覧ください。

オートメモリー

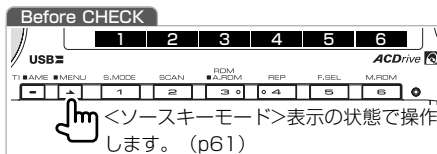
受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

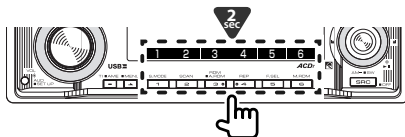
2 オートメモリーを開始します

周波数表示が変わり始めるまで押し続けます。

- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 バンドを選びます

2 放送局を選びます

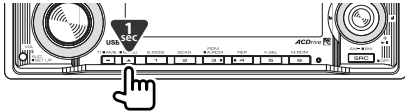
3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます

FM1-3ch 82.5

プリセットナンバーが1回点滅表示するまで押し続けます。

- オートメモリーではメモリーされない放送局をメモリーしたいときなどに便利です。

チューニングモード

コントロールノブを左右に動かして選局するときのチューニングモードを設定します。
チューニングモードには、次の3種類があります。

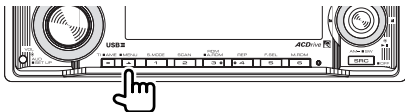
1 メニューモードにします

▶ MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

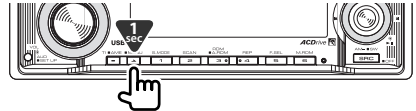
2 チューニングモードの項目を選択します

3 チューニングモードを選びます

- “Auto1”（オート1）
  受信状態の良い放送局を自動的に選びます。
- “Auto2”（オート2）
  メモリーされている放送局を番号順に受信します。
- “Manual”（マニュアル）
  押すたびに、周波数が 1 ステップずつ変わります。

4 メニューモードを終了します

モノラルモード

（FM放送を受信中のみ）
FMステレオ放送の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聴きやすくなる場合があります。

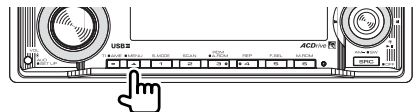
1 メニューモードにします

▶ MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

2 モノラルモードの項目を選択します

3 モノラルモードをオン/オフします

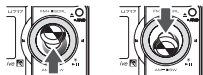
4 メニューモードを終了します

Radio Listening

CD & Audio file Listening

CDやオーディオファイル（CD-ROM/R/RWおよびUSBデバイス）、KSF（HDX-700/HDX-710）を本機や別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイできます。

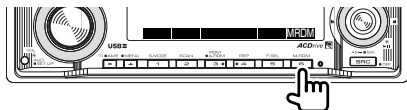
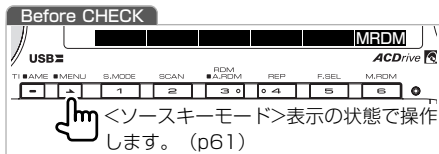
● CDとオーディオファイルの基本的な聴きかたは「CDやオーディオファイルを聴く」（p14）をご覧ください。

ディスク/フォルダサーチ

プレイするディスクまたはフォルダを選択します。

上に動かすとに次のディスク/フォルダが選択され、下に動かすとに手前のディスク/フォルダが選択されます。

- ディスクサーチは、別売品のディスクチェンジャーのプレイ中に使えます。
- ファルダサーチは、オーディオファイルおよびKSFのプレイ中に使えます。
- フォルダサーチの詳細については「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。

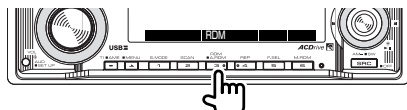
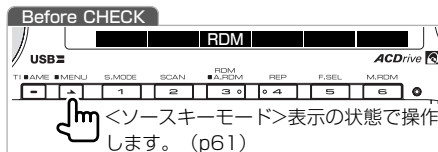
マガジンランダムプレイ

（ディスクチェンジャーのみ）
ディスクチェンジャーにセットされているディスクをランダムな順でプレイします。

▶ Magazine RDM ON

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。

- （コントロールノブ）を右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

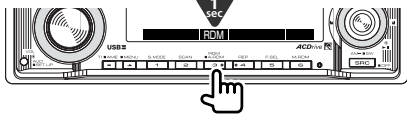
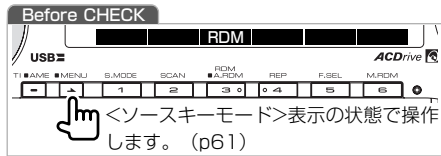
ランダムプレイ

プレイ中のCD、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

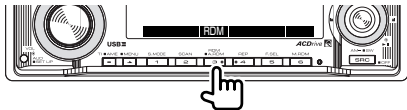
- （コントロールノブ）を右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- KSFプレイ中は（コントロールノブ）を上または下に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- フォルダランダムプレイは、オーディオファイルのプレイ中に使用できます。

オールランダムプレイ

（オーディオファイルメディアのみ）

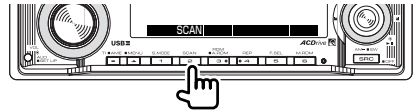
オーディオファイルが入っているメディア内の曲をランダムな順でプレイします。

All Random ON

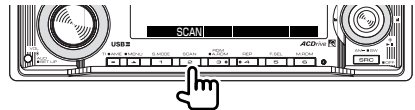
"All Random ON"と表示されるまで押し続けます。

オールランダムプレイを中止するときは...

- （コントロールノブ）を右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

スキャンプレイ

ディスクやフォルダの各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します

Track Scan ON	CDプレイ中
File Scan ON	オーディオファイル、KSFプレイ中

2 聴きたい曲のところで...

スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。

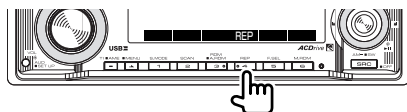
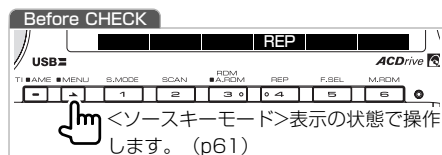
- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

タイトル/テキストスクロール

タイトル/テキストをスクロールさせます。

- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
  - ディスクタイトル/トラックタイトル
  - 曲タイトル/アルバム名/アーティスト名/フォルダ名/ファイル名
- 「メニュー設定」（p42）で"Display"項目を"OFF"に設定しているとスクロール途中でも表示が消える場合があります。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクやフォルダ内の曲を繰り返しプレイします。

押すたびに、次の順でオン/オフされます。

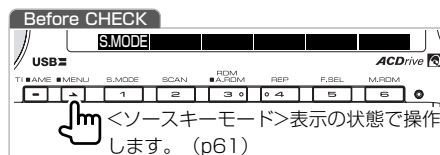
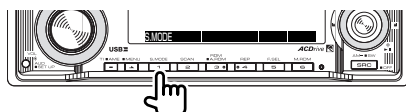
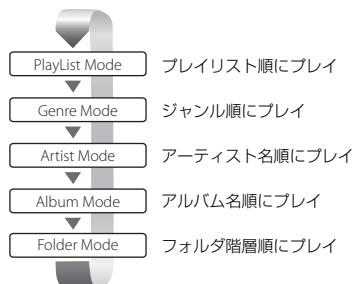
CD時

オーディオファイル、KSF時

ディスクチェンジャー時

プレイモード

ACDriveメディアの再生中に、カテゴリーから曲を選択し、プレイします。

1 カテゴリーを選択します

押すたびに、カテゴリーが次のように切り替わります。

2 カテゴリー内の項目を選択します

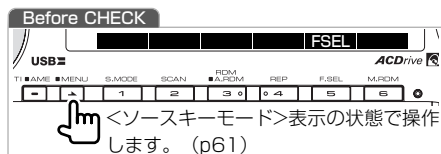
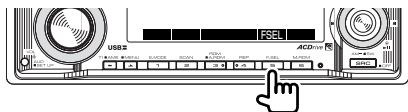
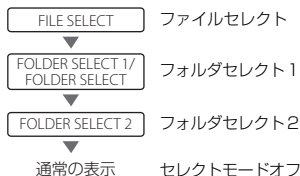
上に動かすと、次の項目に進みます。下に動かすと、前の項目に戻ります。

- 曲のカテゴリー情報はMedia ManagerでACDriveメディアを作成したときに、メディアに書き込まれます。
- ACDriveメディアをプレイしているときの音声ガイドは消すこともできます。「メニュー設定」（p42）の“Voice Index”項目を“OFF”に設定してください。

セレクトモード

（オーディオファイルメディアのみ）

聴きたいオーディオファイルやフォルダを、ファイルナンバーを指定したり、フォルダ名を参照して選択できます。ディスクサーチやフォルダサーチとは違い、聴くファイルやフォルダを確定するまではプレイする曲が変わりません。

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。（p61）

1 セレクトモードを選択します

押すたびに、次の順でセレクトモードが切り替わります。

2 フォルダまたはファイルを選びます

詳しい操作方法は、「ファイルセレクト」（p24）、「フォルダセレクト1」（p25）、および「フォルダセレクト2」（p25）をご覧ください。

ファイル名やフォルダ名をスクロール表示するときは...

- セレクトモードは、「オールランダムプレイ」（p21）がオン中は切り替わりません。
- ファイルセレクトは、「ランダムプレイ」（p22）がオン中は切り替わりません。
- フォルダセレクト2は、ACDriveメディアでは「プレイモード」（p22）を“Folder Mode”以外に設定していると切り替わりません。
- セレクトモード中の動作例は「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。
- セレクトモード中は、“EXIT”[2]ボタンまたは“EXIT”[5]ボタンを押すとセレクトモードを中止できます。

ファイルセレクト

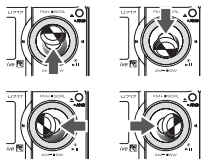
（オーディオファイルメディアのみ）

プレイ中のフォルダ内から、ファイルナンバーを指定して、聴きたいオーディオファイルを探します。

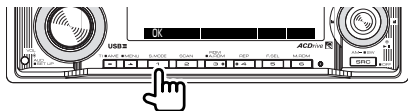
1 ファイルセレクトモードにします

フォルダ内の最初のファイル名が表示されます。

モード変更のしかたは、「セレクトモード」（p24）をご覧ください。

2 ファイルナンバーを入力します

操作	ファイルナンバーの増減
FM（上に動かす）	＋10
AM（下に動かす）	－10
⏮（左に動かす）	－1
⏭（右に動かす）	＋1

入力したファイルナンバーのファイル名が表示されます。

3 選択したファイルをプレイします

- 選択できるファイルナンバーは、999曲までできます。
- ファイルナンバーは、100を超えると“T”表示が消えて数字のみを表示します。
- ファイルセレクト中は、ACDriveメディアの音声ガイドはされません。

フォルダセレクト1

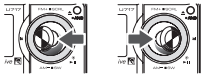
（オーディオファイルメディアのみ）

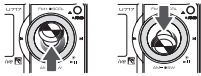
メディアの階層を追ってフォルダを探します。オーディオファイルをジャンルやアーティスト別にフォルダ管理しているメディアを使用しているときに便利です。

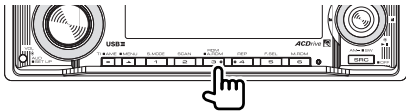
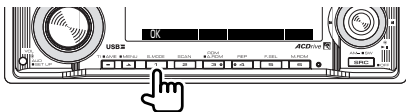
1 フォルダセレクト1モードにします

モード変更のしかたは、「セレクトモード」（p24）をご覧ください。

2 フォルダを選びます

同一階層内でフォルダを選ぶときは

左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を移動するときは*

上に動かすたびに1階層下へと移動し、下に動かすたびに1階層上へと移動します。

第1階層に戻るときは*

3 選択したフォルダをプレイします

● ＊で示した機能は、ACDriveメディアでは「プレイモード」（p22）を"Folder　Mode"に設定している必要があります。

フォルダセレクト2

（オーディオファイルメディアのみ）

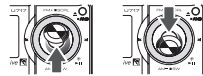
プレイできるオーディオファイルが保存されているフォルダのみを探して順番に表示します。

1 フォルダセレクト2モードにします

モード変更のしかたは、「セレクトモード」（p24）をご覧ください。

2 フォルダを選択します

左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

表示中のフォルダが入っているフォルダ名を確認するには...

上に動かすたびに、1階層上のフォルダ名を表示します。上の階層のフォルダ名を表示しているときは「🗀」が表示されます。

下に動かすと、表示が1階層戻ります。

3 選択したフォルダをプレイします

● 上階層のフォルダ名を表示している場合でも、プレイされるのは現在選択中のフォルダ（「🗀」が表示されていない名称のフォルダ）です。

Name Set

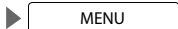
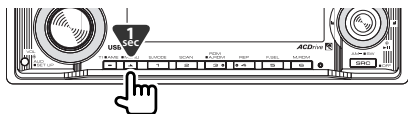
FM/AM放送局、本機内蔵のCDプレーヤーまたは別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。また、AUX入力に付ける名前を選択することができます。

DNPS（ディスクネームプリセット）/ SNPS（ステーションネームプリセット）

CD、FM/AM放送局に名前を付けます。

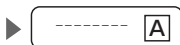
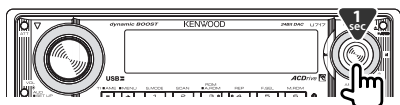
1 名前を付けるソースをプレイします

- MDやオーディオファイルのメディアにDNPSを行うことはできません。
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

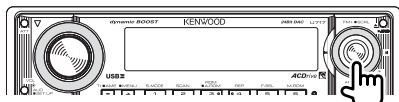
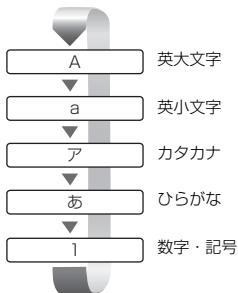
2 メニューモードにします

MENU

"MENU"と表示されるまで押し続けます。

3 ネームプリセットの項目を表示させます

4 DNPS/SNPSを開始します

ネームセットの画面に切り替わるまで押し続けます。

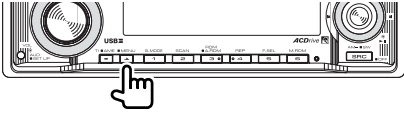
5 文字を入力する位置にカーソルを移動します

6 文字の種類を選びます

押すたびに、入力できる文字が次の順に切り替わります。

- 漢字入力方法については、「漢字の入力」（p28）をご覧ください。

7 文字を選びます

名前は8文字まで登録できます。

8 手順5〜7を繰り返して、すべての文字を入力します

9 DNPS/SNPSを終了します

メニューモードが終了します。

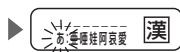
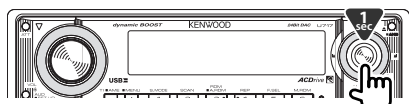
- 10秒以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- CDは、CDトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- DNPSは内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーを合わせて50枚まで登録できます。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

漢字の入力

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

1 DNPS/SNPSを開始します

「DNPS（ディスクネームプリセット）/SNPS（ステーションネームプリセット）」（p26）の手順１～5をご覧ください。

2 漢字入力モードにします

“漢”と表示されるまで押し続けます。

3 漢字の読みを選びます

4 入力する漢字を選びます

カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

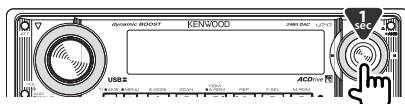
漢字列を変えるには…

カーソルが漢字の位置にあるときに押すと、漢字列が変わります。

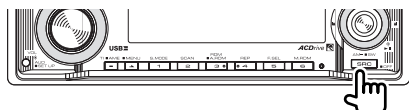
5 漢字を入力します

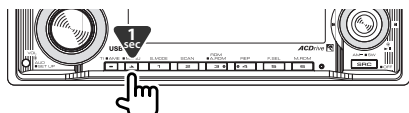
カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。

6 手順2～5を繰り返して、すべての漢字を入力します

漢字入力を中止するときは…

AUXネーム選択

ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前（AUXネーム）を設定します。

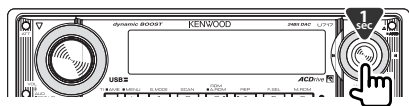
1 AUXソースに切り替えます

▶ AUX / AUX EXT

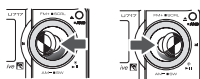
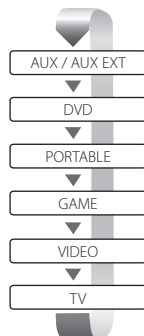
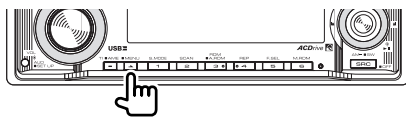
2 メニューモードにします

▶ MENU

"MENU"と表示されるまで押し続けます。

3 ネームプリセットの項目を表示させせます

4 AUXネーム選択を開始します

▶ ****

現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

5 名前を選びます

左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。

6 AUXネーム選択を終了します

メニューモードが終了します。

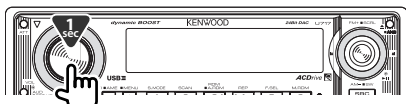
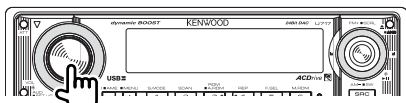
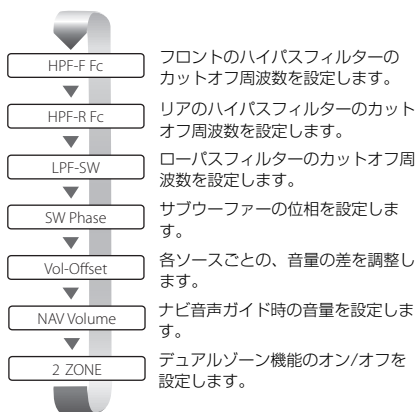
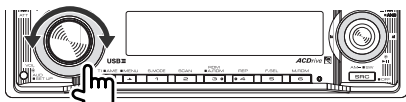
- 10秒以上何も操作しないと、AUXネーム選択は自動的に終了します。
- AUXネームを付けられるのは、内蔵AUXまたは別売品のKCA-S210Aを使用した外部AUXのみです。

Audio Control

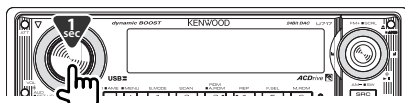
音響効果などを設定します。

オーディオセットアップ

音量オフセットやデュアルゾーン機能などを設定します。

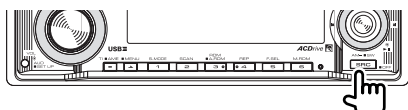
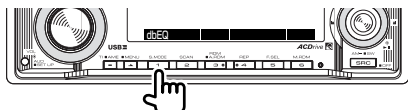
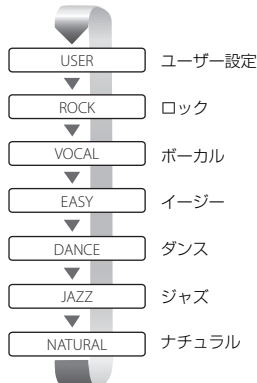
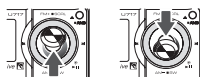
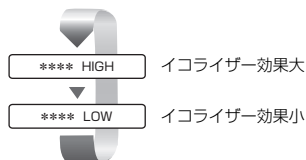
1 オーディオセットアップを開始します

2 設定する項目を選びます

押すたびに、次の順に切り替わります。

3 各項目を設定します

各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
HPF-F Fc/ HPF-R Fc	Through（フィルターオフ）/40/60/80/100/120/150/180/220（Hz）
LPF-SW	50/60/80/100/120（Hz）/ Through（フィルターオフ）
SW Phase	Reverse（180°）/Normal（0°）
Vol-Offset	-8 ～ ±0
NAV Volume	0 ～ 25
2 ZONE	OFF/ON

4 オーディオセットアップを終了します

- “Vol-Offset”でソースごとに音量オフセットを設定しておくと、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- “NAV Volume”は「メニュー設定」（p42）の“NAV Guide”項目を“INT”に設定している必要があります。
- “2 ZONE”を“ON”に設定しているときは、“LPF-SW”、“HPF-F Fc”、“HPF-R Fc”および「オーディオコントロールの詳細設定」（p32）の“Sub-W Level”、“Fader”は設定できません。
- デュアルゾーン機能を使うと、本機でプレイするソースとAUXに入力された音声を前後のスピーカーから別々に出力できます。詳しくは「Help? Term」（p67）をご覧ください。
- “LPF-SW”および“SW Phase”は、「サブウーファー出力コントロール」（p33）をオンに設定している必要があります。さらに「メニュー設定」（p42）の“SWPRE”項目を“Sub-W”(サブウーファー)に設定している必要があります。
- “SW Phase”は、“LPF-SW”項目が“Through”以外に設定している必要があります。

イコライザーカーブの呼び出し

<ディスプレイキーモード>表示の状態で操作します。（p61）

1 設定したいソースにします

2 イコライザーカーブを呼び出します

押すたびに、次の順に切り替わります。

3 イコライザーカーブの音質効果を調節します

押すたびに次の順で切り替わります。
“＊＊＊＊”はイコライザーカーブの“Rock”～“JAZZ”が表示されます。

- イコライザーカーブは、ソースごとに設定できます。
- “USER”の値は、オーディオコントロールの設定です。オーディオコントロールの内容と設定方法については「音質などを調整します」（p13）をご覧ください。
- “USER”および“NATURAL”に設定しているときは、イコライザー効果の調節はできません。

オーディオコントロールの詳細設定

オーディオコントロールでは次の項目を設定できます。

リアスピーカーの音量を調整します。(調整範囲: 0～35)

サブウーファーの音量を調整します。(調整範囲: -15～+15)

低音域の音量を調整します。

中音域の音量を調整します。

高音域の音量を調整します。

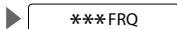
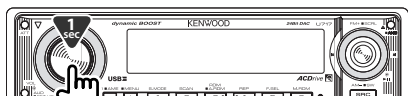
左右の音量バランスを調整します。

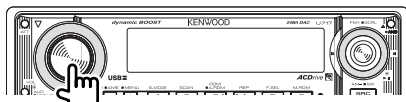
前後の音量バランスを調整します。

- 設定方法は「音質などを調整します」（p13）をご覧ください。
- “Bass Level”、“Middle Level”および“Treble Level”は、ソースごとに設定できます。
- “Rear Volume”は、デュアルゾーン機能がオンに設定している必要があります。デュアルゾーン機能の設定については「オーディオセットアップ」（p30）をご覧ください。
- “Sub-W Level”は、「サブウーファー出力コントロール」（p33）をオンに設定している必要があります。さらに「メニュー設定」（p42）の“SWPRE”項目を“Sub-W”(サブウーファー)に設定している必要があります。
- “Fader”、“Sub-W Level”は、デュアルゾーン機能がオフに設定している必要があります。デュアルゾーン機能の設定については「オーディオセットアップ」（p30）をご覧ください。

さらに、低音、中音、高音の調整をきめ細かく設定できます。

1 詳細設定を開始します

＊＊＊FRQ

“＊＊＊FRQ”と表示されるまで押し続けます。

2 調整する項目を選びます

押すたびに、次の順に切り替わります。

“Bass Level”で押したとき

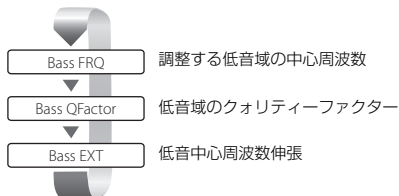
調整する低音域の中心周波数

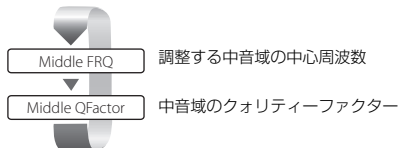
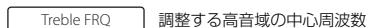
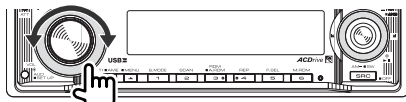
低音域のクォリティーファクター

低音中心周波数伸張

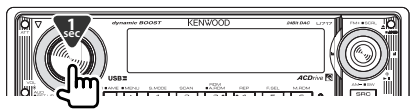
“Middle Level”で押したとき

調整する中音域の中心周波数

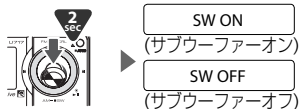
中音域のクォリティーファクター

“Treble Level”で押したとき

Treble FRQ　調整する高音域の中心周波数

3 各項目を調整します

各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
Bass FRQ	40/50/60/70/80/100/120/150（Hz）
Bass Q Factor	1.00/1.25/1.50/2.00
Bass EXT	OFF/ON
Middle FRQ	0.5/1.0/1.5/2.0（kHz）
Middle Q Factor	1.00/2.00
Treble FRQ	10.0/12.5/15.0/17.5（kHz）

4 詳細設定を終了します

- 各調整項目については「Help? Term」（p67）をご覧ください。

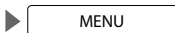
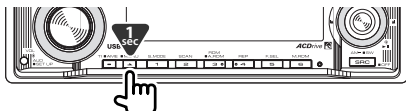
サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。

“SW ON”または“SW OFF”と表示されるまで押し続けます。

- 「メニュー設定」（p42）の“SWPRE”項目を“Sub-W”(サブウーファー)に設定している必要があります。
- 「オーディオセットアップ」（p30）の“2 ZONE”項目を“OFF”に設定している必要があります。

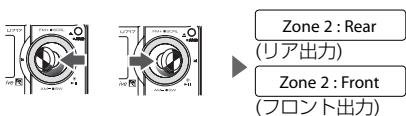
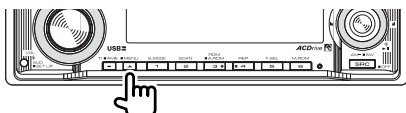
デュアルゾーン設定

デュアルゾーン機能がオンに設定しているときの内蔵AUX入力音声（サブソース）の出力先（フロント/リア）を設定します。

1 メニューモードにします

MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

2 デュアルゾーン設定を表示します

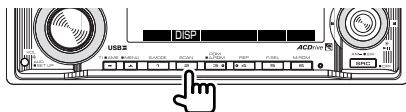
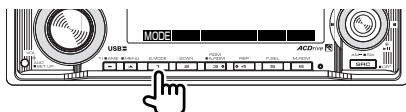
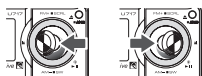
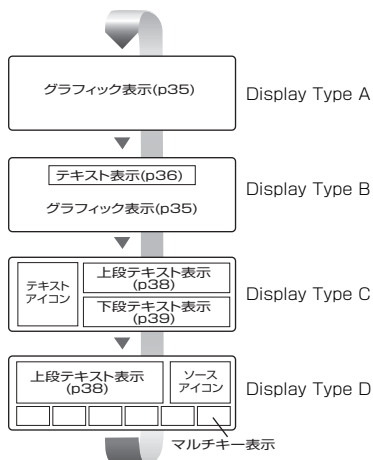
3 出力先を選択します

4 メニューモードを終了します

- 上記の操作の前に、デュアルゾーン機能をオンにしておいてください。デュアルゾーン機能の設定については「オーディオセットアップ」（p30）をご覧ください。
- メインソースは SRC ボタンで切り替えます。
- デュアルゾーン時には、本設定にかかわらず、フロントスピーカーの音量はボリュームノブで調整します。また、リアスピーカーの音量は「オーディオコントロールの詳細設定」（p13）の“Rear Volume”項目で調整します。
- オーディオコントロールの各種の設定は、サブソースに対しては無効です。

Display Control

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

ディスプレイタイプ設定

ディスプレイの表示タイプを設定します。

1 **ディスプレイコントロールモードにします**

2 **ディスプレイタイプ切り替えモードにします**

3 **ディスプレイタイプを切り替えます**

押すたびに、次の順に切り替わります。

4 **ディスプレイコントロールモードを終了します**

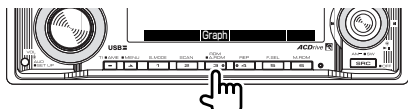
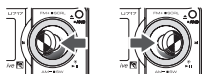
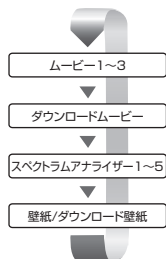
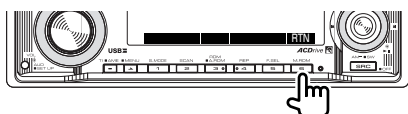
- “Display Type D”以外を選択するとマルチキー表示がされなくなります。マルチキーシステムを使用している機能を行う場合は 1 〜 6 ボタンのいずれか、または ボタンを押してください。マルチキー表示が約 5 秒間表示されます。
- テキスト表示は、「テキストカラー設定」（p37）で表示色を変えることができます。

グラフィック表示設定

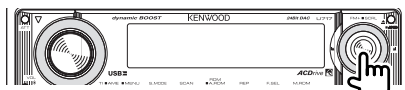
Display Type AおよびBのグラフィック表示を切り替えます。

1 ディスプレイタイプをAまたはBにします

「ディスプレイタイプ設定」（p34）をご覧ください。

2 グラフィック切り替えモードにします

3 グラフィック表示を切り替えます

左右に動かすたびに、以下の順に切り替わります。

4 ディスプレイコントロールモードを終了します

- “ダウンロードムービー”、“ダウンロード壁紙”は画像が収録されている場合に表示されます。収録の方法は「画像のダウンロード」（p48）を参照してください。

▼ 壁紙選択中は壁紙を切り替えることもできます。

壁紙を次々に変えて表示するには...

▶ SCAN

壁紙表示中に押すたびに、スキャンがオン/オフします。

壁紙を切り替えて選択するには...

1 壁紙スキャンをオフにします

押すたびに壁紙スキャンがオン／オフします。壁紙スキャンがオフのときは“SCAN”表示が消えます。

2 壁紙を選択します

▶
壁紙表示中に上下に動かすたびに、壁紙が切り替わります。

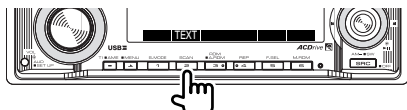
Display Control

テキスト表示設定

Display Type Bのテキスト表示を切り替えます。

1 ディスプレイタイプをBにします

「ディスプレイタイプ設定」（p34）をご覧ください。

2 テキスト切り替えモードにします

3 テキストを切り替えます

左右に動かすたびに、以下の順に切り替わります。

スタンバイ中

表示	情報
Source Name	スタンバイ
Clock	時計表示
Date	日付表示

FM/AM受信中、交通情報受信中

表示	情報
SNPS	ステーションネーム*1
Frequency	バンド+周波数表示
Clock	時計表示
Date	日付表示

*1 SNPSが登録されていないと周波数が表示されます。

CD/ディスクチェンジャープレイ中

表示	情報
Disc Title	ディスクタイトル*1
Track Title	トラックタイトル*1
P-Time	トラック番号+プレイ時間
DNPS	ディスクネーム*2
Clock	時計表示
Date	日付表示

*1 ディスクタイトル/トラックタイトルが登録されていないと演奏時間が表示されます。

*2 DNPSが登録されていないと“No Name”が表示されます。

オーディオファイルプレイ中

表示	情報
Title/Artist	曲タイトル／アーティスト名*1
Album/Artist	アルバム名／アーティスト名*1
Folder Name	フォルダ名
File Name	ファイル名
P-Time	ファイル番号+プレイ時間*2
Clock	時計表示
Date	日付表示

*1 曲タイトル/アルバム名/アーティスト名が登録されていないとプレイ時間が表示されます。

*2 ファイル番号は1000曲を超えると下三桁を表示します。

AUX/AUX EXT中

表示	情報
Source Name	AUXネーム
Clock	時計表示
Date	日付表示

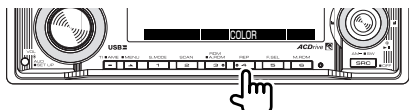
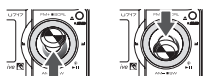
4 ディスプレイコントロールモードを終了します

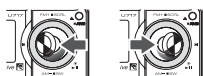
テキストカラー設定

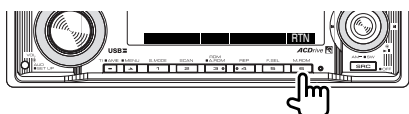
テキストのカラーを切り替えます。

1 テキスト切り替えモードにします。

「テキスト表示設定」（p36）、「上段/下段テキスト表示設定」（p38）をご覧ください。

2 テキストカラーモードにします

3 設定する段を選択します（“Display Type C”のみ）

上下に押すたびに、設定できる段が変わります。
設定可能な段には ➡ が表示されます。

4 テキストカラーを切り替えます

左右に動かすたびに、色が３色に切り替わります。

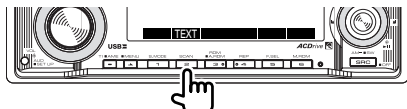
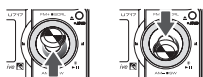
5 ディスプレイコントロールモードを終了します

- “Display Type C”の“Status”を表示している場合、テキストカラーを設定してもインジケータの色は変わりません。

上段/下段テキスト表示設定

Display Type CおよびDの上段/下段テキスト表示を切り替えます。

1 ディスプレイタイプをCまたはDにします

「ディスプレイタイプ設定」（p34）をご覧ください。

2 テキスト切り替えモードにします

3 設定する段を選択します

上下に押すたびに、設定できる段が変わります。設定可能な段には ➡ が表示されます。

4 表示を切り替えます

左右に動かすたびに、以下の順に切り替わります。

上段表示

スタンバイ中

表示	情報
Source Name	スタンバイ
Clock	時計表示
Date	日付表示

FM/AM受信中、交通情報受信中

表示	情報
SNPS	ステーションネーム*1
Frequency	バンド＋周波数表示
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示

*1 SNPSが登録されていないと周波数が表示されます。

CD/ディスクチェンジャープレイ中

表示	情報
Disc Title	ディスクタイトル*1
Track Title	トラックタイトル*1
P-Time	トラック番号＋プレイ時間
DNPS	ディスクネーム*2
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示

*1 ディスクタイトル/トラックタイトルが登録されていないとプレイ時間が表示されます。
*2 DNPSが登録されていないと“No Name”が表示されます。

オーディオファイルプレイ中

表示	情報
Title/Artist	曲タイトル／アーティスト名*1
Album/Artist	アルバム名／アーティスト名*1
Folder Name	フォルダ名
File Name	ファイル名
P-Time	ファイル番号＋プレイ時間*2
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示

*1 曲タイトル/アルバム名/アーティスト名が登録されていないとプレイ時間が表示されます。
*2 ファイル番号は1000曲を超えると下三桁を表示します。

AUX/AUX EXT中

表示	情報
Source Name	AUXネーム
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示

下段表示

スタンバイ中

表示	情報
Status	インジケーター
Clock	時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません

FM/AM受信中、交通情報受信中

表示	情報
Status	インジケーター
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません

CD/ディスクチェンジャープレイ中

表示	情報
Status	インジケーター
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません
Disc Title	ディスクタイトル*1
Track Title	トラックタイトル*1
DNPS	ディスクネーム*2

*1 ディスクタイトル/グループネーム/トラックタイトルが登録されていないとインジケーターが表示されます。

*2 DNPSが登録されていないと"No Name"が表示されます。

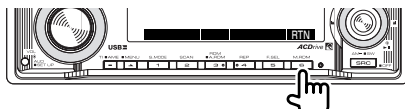
オーディオファイルプレイ中

表示	情報
Status	インジケーター
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません
Title/Artist	曲タイトル／アーティスト名*1
Album/Artist	アルバム名／アーティスト名*1
Folder Name	フォルダ名
File Name	ファイル名

*1 曲タイトル/アルバム名/アーティスト名が登録されていないとインジケーターが表示されます。

AUX/AUX EXT中

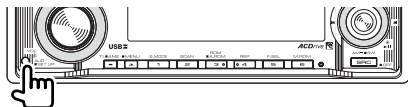
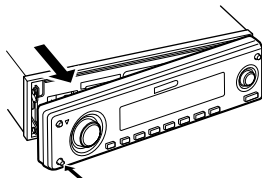
表示	情報
Status	インジケーター
Speana/Clock	スペクトルアナライザー／時計表示
Date	日付表示
Blank	何も表示しません

5 ディスプレイコントロールモードを終了します

- "Display Type C"選択時は、上下段それぞれの表示項目が選択できます。
- 上段表示と下段表示に同じ情報を表示することはできません。
- "Display Type D"選択時は、上段表示項目のみが選択できます。

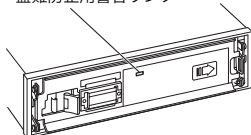
Display Control

操作パネルの取り外し

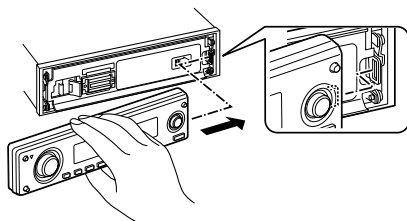
操作パネルを取り外します。

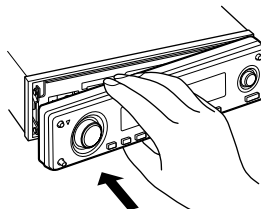
1 操作パネルのロックを外します

2 操作パネルを取り外します

パネルのロックが外れたらパネルの左側を引きます。

- 電源がオンのときにパネルを取り外すと、電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿度が高い場所
  - ほこりのかかる場所
- 本機はDSI（セキュリティインジケーター）機能を採用しています。「メニュー設定」（p42）の“DSI”項目を“ON”にしておくとパネルを取り外したときに、盗難防止用警告ランプが点滅し、盗難防止の手助けになります。

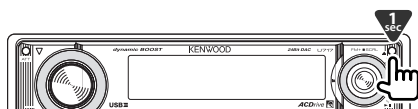
盗難防止用警告ランプ

パネルの取り付け

操作パネルを取り付けます。

1 操作パネルを本体に合わせます

本体の右側シャフト部にパネルを合わせて押します。

2 操作パネルを取り付けます

パネル左側を本体に合わせてロックします。
パネルが取り付き、本機が使用可能となります。

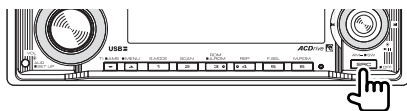
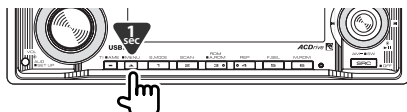
操作パネル角度調節

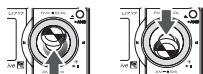
操作パネルの角度を調整します。

押すたびに、操作パネルが1ステップずつ3段階にスライドします。

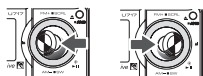
各種の機能を設定します。

メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます

2 メニューモードにします

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

3 設定する項目を選択します

表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します

- ページ数が表記されている項目の設定方法は、それぞれのページを参照してください。

表示	設定	設定概要	ソース
Security Set/ Security Clear	p44参照	セキュリティコードの設定と解除をします。	SB
Beep	ON*/OFF	操作音の有無を設定します。	SB
Clock Adjust	p46参照	時刻を設定します。	SB
Date Adjust	p47参照	日付を設定します。	SB
DSI	ON*/OFF	盗難防止用警告ランプのオン/オフ設定をします。	SB
Button	Green*/ Red	キーイルミネーション色の赤/緑設定をします。	SB
Display	ON*/OFF	操作しないときは、ディスプレイを消します。	
Dimmer	ON*/OFF	周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの輝度が調整されます。	SB
SWPRE	Rear*/ Sub-W	プリアウトの出力信号を設定します。	SB
AMP	ON*/OFF	内蔵アンプのオン/オフ設定をします。	SB
Zone 2	p33参照	デュアルゾーン機能の内蔵AUX入力音声の出力先を設定します。	2ZONE
Seek Mode	Auto1*/ Auto2/ Manual	放送局の選択方法を設定します。	Tuner
MONO	OFF*/ON	モノラル音声で受信します。	FM
Name Set	p26参照	FM/AM放送局やCD、AUXソースに名前を付けます。	SB以外
カンジ ユウセン	ON*/OFF	テキスト表示時に漢字を優先して表示するか設定します。	SB
Scroll	Auto*/ Manual	テキスト表示を自動的にスクロールするか設定します。	

表示	設定	設定概要	ソース
NAV Guide	OFF*/ ATT/INT	接続されているナビの音声ガイド時の設定をします。	SB
Built in AUX	OFF*/ON	ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	SB
CD Read	1*/2	CDの読み取りモードを設定します。	SB
DISP Data DL	p48参照	画像データをダウンロードします。	SB
Voice Index	ON*/OFF	ACDriveの音声ガイドのオン/オフ設定します。	ACD
ACD F/W Version	—	ACDriveのファームウェアバージョンを表示します。	CD USB
ACD Unique ID	—	ACDriveのシリアル番号を表示します。	CD USB
Audio Preset	p50参照	オーディオ設定の登録･呼び出しをします。	SB以外
DEMO Mode	p49参照	デモンストレーションの設定をします。	SB

* お買い上げ時の設定状態を示します。

SB:スタンバイ中に設定できます。

SB以外:スタンバイ以外のときに設定できます。

Tuner:Tunerソース中に設定できます。

FM:FMを受信中に設定できます。

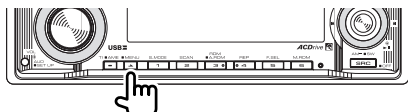
CD:CDソース中に設定できます。

USB:USBソース中に設定できます。

ACD:ACDriveメディアをプレイ中に設定できます。

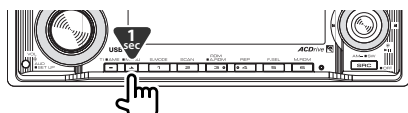
2ZONE:「オーディオセットアップ」(p30)の“2　ZONE”項目が“ON”中に設定できます。

5 メニューモードを終了します

- 各項目の詳細は「Help? Term」（p67）をご覧ください。
- セキュリティコードが設定されているときは、“Security Set”のかわりに“Security　Clear”（セキュリティコード消去）が表示されます。
- AUXソースを使用しないときは、“Built　in　AUX”は“OFF”のままに設定しておいてください。
- “NAV Guide”項目を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSF(別売品のHDX-710などの音楽ソース)を再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声がナビ音声ガイドと一緒に聞こえる場合があります。

セキュリティコードの設定

暗証番号を設定して、盗難を抑制します。

- 設定したセキュリティコードの変更・消去には、セキュリティコードが必要です。セキュリティコードは必ずメモしておくことをお勧めします。
- セキュリティコード機能は"DEMO　Mode"項目が"OFF"のときに設定できます。

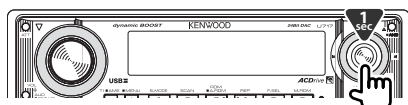
1 メニューモードにします

▶ MENU

"MENU"と表示されるまで押し続けます。

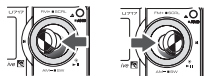
2 セキュリティコードセットを表示します

▶ Security Set

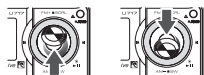
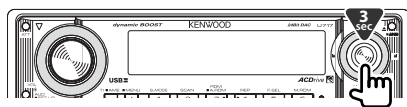
3 セキュリティコードセットを開始します

▶ Enter ▶ Security Set - - - -

"Enter"と表示されるまで押し続けます。

4 セキュリティコードを入力します

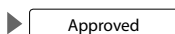
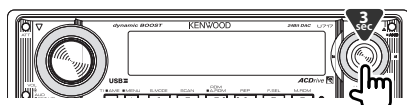
入力する桁を選択するには

入力する数字を選択するには

5 決定します

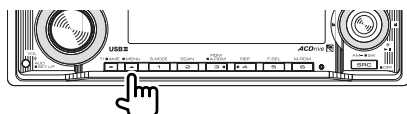
▶ Re-Enter ▶ Security Set - - - -

"Re-Enter"と表示されるまで押し続けます。

6 もう一度入力します

手順4と同じ方法で、同じセキュリティコードを入力します。

7 決定します

▶ Approved

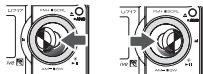
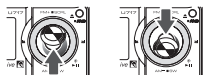
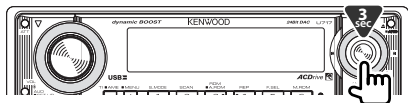
"Approved"と表示されるまで押し続けます。

8 セキュリティコードセットを終了します

- この設定はスタンバイ中に行えます。基本的なメニュー設定の操作方法は「メニュー設定」（p42）をご覧ください。
- 手順6で入力したセキュリティコードが手順4で入力したセキュリティコードと異なる場合は、手順4からやりなおすことになります。
- セキュリティコードが設定されると、リセットボタンを押したときやバッテリーの接続を切った場合にセキュリティコードの入力が必要となります。詳しくは、「セキュリティコードの入力」（p45）をご覧ください。

セキュリティコードの入力

セキュリティコードが設定されている場合、リセットボタンを押した後や本機をバッテリーから外した後で初めて使うときには、電源をオンにするためにセキュリティコードを入力する必要があります。

1 セキュリティコードを入力します

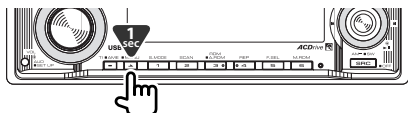
入力する桁を選択するには

入力する数字を選択するには

2 決定します

▶ Approved

"Approved"と表示されるまで押し続けます。

- 入力したセキュリティコードがまちがっていると電源がオフになります。このようなときは、SRC ボタンを押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にDSI（セキュリティインジケーター）機能を採用しています。「メニュー設定」（p42）の"DSI"項目を"ON"に設定しておくと、操作パネルを取り外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

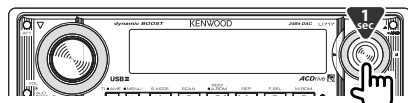
セキュリティコードのクリア

セキュリティコードの設定を解除します。

1 メニューモードにします

▶ MENU

"MENU"と表示されるまで押し続けます。

2 セキュリティコードクリアを表示します

3 セキュリティコードクリアを開始します

▶ Enter ▶ Security Clear - - - -

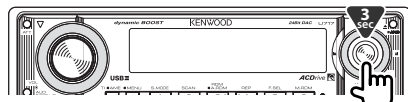
"Enter"と表示されるまで押し続けます。

4 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには

入力する数字を選択するには

「セキュリティコードの設定」(p44)で設定したセキュリティコードを入力します。

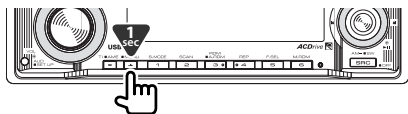
5 決定します

▶ Clear

"Clear"と表示されるまで押し続けます。

- この設定はスタンバイ中に行えます。基本的なメニュー設定の操作方法は「メニュー設定」（p42）をご覧ください。
- 入力したセキュリティコードがまちがっていると"Error"と表示されます。再度手順4からの操作を行って正しいコードを入力してください。

時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

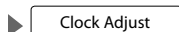
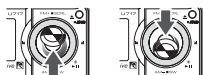
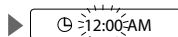
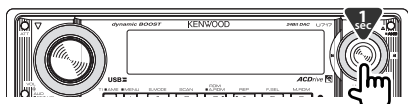
1 メニューモードにします

▶ MENU

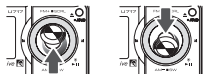
“MENU”と表示されるまで押し続けます。

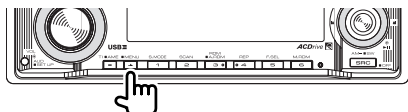
2 時刻合わせの項目を選択します

▶

3 時刻合わせを開始します

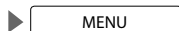
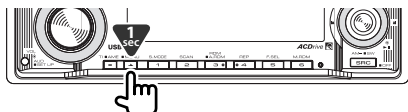
▶ 12:00 AM

時計表示になるまで押し続けます。

4 “時”を調整します

5 “分”を調整します

6 時刻合わせを終了します

- この設定はスタンバイ中に行えます。基本的なメニュー設定の操作方法は「メニュー設定」（p42）をご覧ください。
- “分”を調整したときには、時計合わせ終了時に00秒からスタートします。
- 時計は12時間制で表示します。

日付合わせ

本機の日付を合わせます。

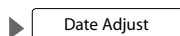
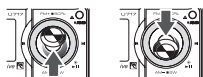
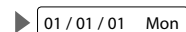
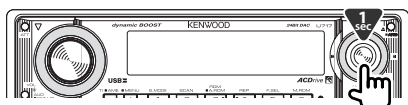
1 メニューモードにします

▶ MENU

"MENU"と表示されるまで押し続けます。

2 日付合わせを表示します

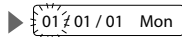
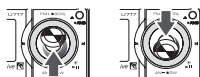
▶

3 日付合わせを開始します

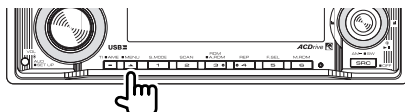
▶ 01 / 01 / 01　Mon

日付表示になるまで押し続けます。

4 合わせる項目を選択します

左右に動かして、設定できる項目(年、月、日)を選択します。

▶ 01 / 01 / 01　Mon

5 日付を合わせます

6 手順4～5を繰り返して日付を合わせます

7 日付合わせを終了します

- この設定はスタンバイ中に行えます。基本的なメニュー設定の操作方法は「メニュー設定」（p42）をご覧ください。

画像のダウンロード

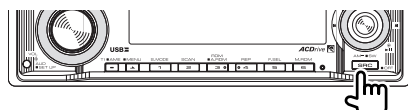
壁紙や動画を本機にダウンロードします。ダウンロードした画像・動画(以下「画像」と呼びます)はディスプレイに表示できます。

- 画像のダウンロード中は、本機を操作したりエンジンの始動や停止などはしないでください。正しく画像が読み込めない場合がありなす。

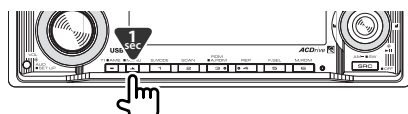
1 画像の入ったCD/USBデバイスを準備します

ダウンロードする画像やダウンロード用のCD-R/RWやUSBデバイスの作成方法は、下記URLをご覧ください。
URL：http://www.kenwood.net-disp.com

2 ダウンロード用のCDを本機に挿入します またはUSBデバイスを本機に接続します

3 STANDBYにします

▶ STANDBY

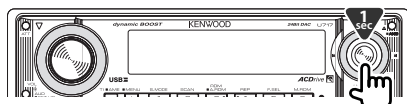
“STANDBY”と表示されるまで押し続けます。

4 メニューモードにします

▶ MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

5 ディスプレイデータダウンロードを表示します

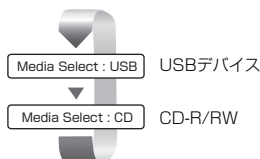
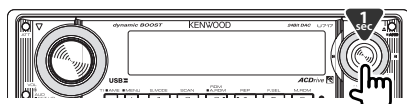
▶ DISP Data DL

6 メディアセレクトモードにします

▶ Media Select

“Media　Select”と表示されるまで押し続けます。

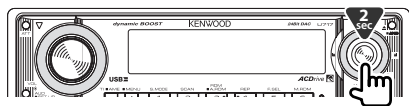
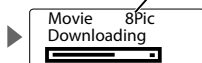
7 ダウンロードするメディアを選択します

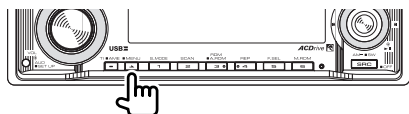
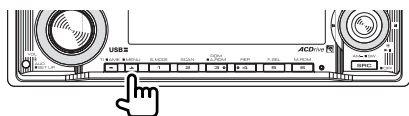
左右に動かすたびに、下記の順に切り替わります。

表示	メディア
Media Select : USB	USBデバイス
Media Select : CD	CD-R/RW

8 ディスプレイデータダウンロードモードにします

▶ File Check!!

“File Check!!”と表示されるまで押し続けます。

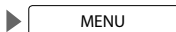
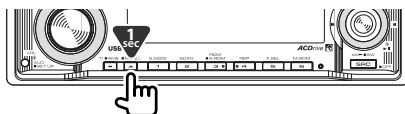
9 ダウンロードする画像を選択します

10 **画像のダウンロードを開始します**

ダウンロードした画像数

"Downloading"と表示されるまで押し続けます。ダウンロードが終了すると"Finished Download"と表示されます。

ダウンロードを中止するには...

11 **ディスプレイデータダウンロードモードを終了します**

- ダウンロード可能なファイルが無い場合は、"No Display File"と表示されます。この場合は SRC を押してディスプレイデータダウンロードモードを解除してください。
- 画像のダウンロードには、最大で10分程度かかります。
- ダウンロードできる画像のファイル数は、壁紙が1ファイルと動画が1ファイルです。新しい画像をダウンロードすると、以前にダウンロードした画像は消去されます。
- 1ファイル内に収録できる画像は、壁紙が28枚または動画が55枚です。
- ダウンロードした画像の表示方法は「ディスプレイタイプ設定」（p34）と「グラフィック表示設定」（p35）をご覧ください。

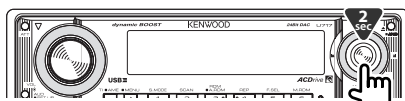
デモンストレーション設定

本機の機能をデモンストレーションします。

1 **メニューモードにします**

MENU

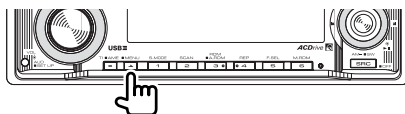
“MENU”と表示されるまで押し続けます。

2 **デモンストレーションを表示します**

3 **デモンストレーション機能を設定します**

DEMO Mode : ON
(デモンストレーションオン)

DEMO Mode : OFF
(デモンストレーションオフ)

2秒以上押すたびに、デモンストレーション機能がオン/オフします。

4 **メニューモードを終了します**

- この設定はスタンバイ中に行えます。基本的なメニュー設定の操作方法は「メニュー設定」（p42）をご覧ください。

オーディオプリセット

オーディオコントロールの設定をメモリーします。ここでメモリーした値は、リセットボタンを押しても消去されません。

1 メモリーするオーディオコントロール設定をします

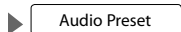
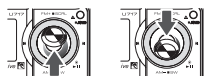
「音質などを調整します」（p13）、「オーディオコントロールの詳細設定」（p32）、および「オーディオセットアップ」（p30）を参照してください。

2 メニューモードにします

▶ MENU

“MENU”と表示されるまで押し続けます。

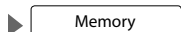
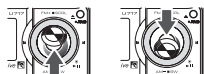
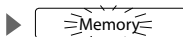
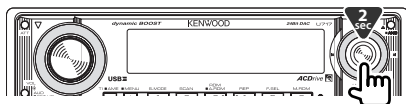
3 オーディオプリセットを表示します

▶ Audio Preset

4 オーディオプリセットモードにします

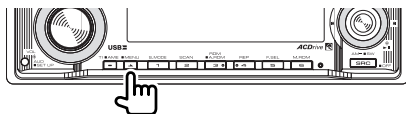
▶ Recall

"Recall"と表示されるまで押し続けます。

5 メモリーを表示します

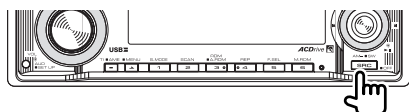
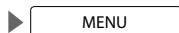
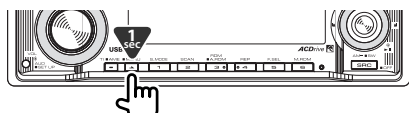
▶

6 オーディオコントロール設定をメモリーします

▶ Memory

"Memory"が1回点滅表示されるまで押し続けます。

7 オーディオプリセットモードを終了します

- メモリーできるオーディオコントロール設定は1組だけです。また、ソース別にメモリーはできません。
- リセットを押したときは、メモリーした値が「オーディオコントロールの詳細設定」と「オーディオセットアップ」の初期設定値になります。
- メモリーできるのは「音質などを調整します」、「オーディオコントロールの詳細設定」、および「オーディオセットアップ」の設定項目です。ただし下記の項目はメモリーされません。
  - ボリューム
  - “Balance”、“Fader”、“Rear Volume”
  - “Vol-Offset”、“2 ZONE”

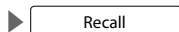
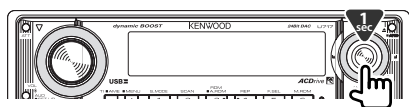
オーディオプリセットの呼び出し

オーディオプリセットメモリーでメモリーした設定を呼び出します。

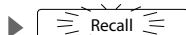
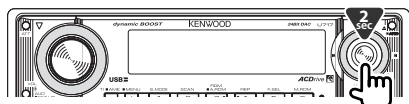
1 呼び出したいソースにします

2 メニューモードにします

MENU

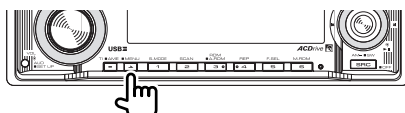
"MENU"と表示されるまで押し続けます。

3 オーディオプリセットを表示します

4 オーディオプリセットモードにします

Recall

"Recall"と表示されるまで押し続けます。

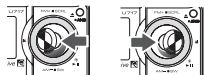
5 オーディオコントロール設定を呼び出します

"Recall"が1回点滅表示されるまで押し続けます。

6 オーディオプリセットモードを終了します

- オーディオプリセットを呼び出すと、設定していた「オーディオコントロールの詳細設定」（p32）および「オーディオセットアップ」（p30）の設定値がメモリーしていた値に置き換わります。

TV Control

別売品のLX-BUS　対応のナビゲーション、HDX-700やHDX-710などが接続されているときに、本機からTVのコントロールをすることができます。

チャンネル選択

受信するTVチャンネルを選択します。

動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド/ビデオ切り替え

TV放送バンドとビデオ入力を切り替えます。

動かすたびにTVバンドとビデオ入力が切り替わります。

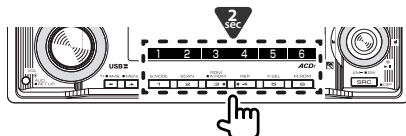
マニュアルメモリー

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。（p61）

1 バンドを選びます

2 放送局を選びます

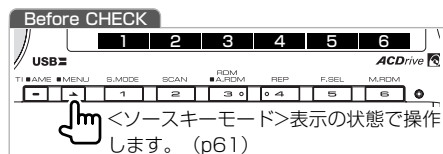
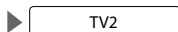
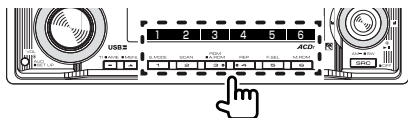
3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます

▶ TV1-3ch 3CH

プリセットナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

プリセットチューニング

<ソースキーモード>表示の状態で操作します。（p61）

1 バンドを選びます

▶ TV2

2 呼び出すプリセットナンバーを選びます

選択したプリセットナンバーの放送局を呼び出します。

音声多重切り替え

音声多重放送のメイン音声とサブ音声を切り替えます。

動かすたびに、メイン音声とサブ音声に切り替わります。

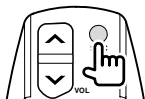
Remote Controller

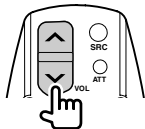
本機を付属のリモコンで操作することができます。

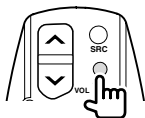
- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を炎の中に入れたり、高温による場所に置かないでください。破裂することがあります。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

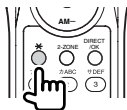
共通操作

ソース切り替え

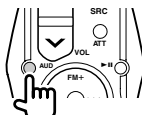
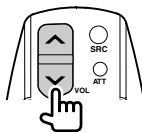
プレイするソースを切り替えます。

音量調整

音量を調整します。

アッテネーター

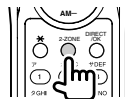
ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

操作パネル角度調整

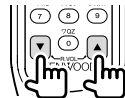
操作パネルの角度を調整します。

オーディオコントロール

音質などを調整します。

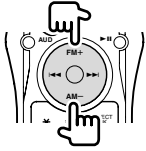
1 調整する項目を選びます。

2 調整します。

- 調整できる項目については「音質などを調整します」（p13）をご覧ください。
- 「オーディオコントロールの詳細設定」（p32）の項目は、リモコンでは操作できません。

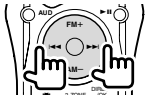
デュアルゾーン

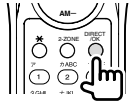
デュアルゾーン機能をオン/オフします。

リア音量調整

デュアルゾーン機能オン時のリアの音量を調整します。

ラジオ

バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。

選局

受信する放送局を切り替えます。

ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：76.1MHz（FM）の場合（3桁）

(7)(6)(1)

例：522kHz（AM）の場合（4桁）

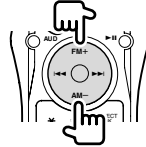
(0)(5)(2)(2)

テンキー

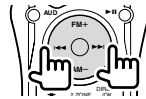
- メモリーされている放送局の番号を押すと、プリセットチューニングできます。（(1)〜(6)）
- ダイレクトチューニングに続けて受信するAM/FM放送局の周波数の数字を指定すると、ダイレクトチューニングできます。

CD/オーディオファイル/KSF

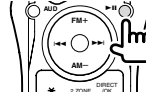
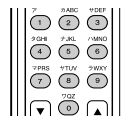
ディスクサーチ/フォルダサーチ
（ディスクサーチ：ディスクチェンジャーのみ）

プレイするディスク/フォルダを選択します。

また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ/ファイルサーチ

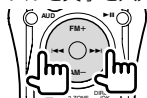
プレイする曲/ファイルを選択します。

また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック/ファイルをダイレクトサーチします。

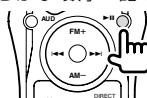
プレイ/ポーズ

プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

- テンキーに続いてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。
- オーディオファイルのプレイ中にテンキーに続いてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。
- KSFのプレイ中は、ダイレクトサーチできません。
- オーディオファイルのダイレクトサーチは999までできます。

ネームセット

カーソル

カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

入力する文字の種類（英大文字/英小文字/カタカナ/ひらがな/数字・記号）を切り替えます。

テンキー

文字を入力します。

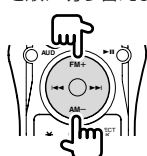
例：「コ」を入力する場合（カタカナ）

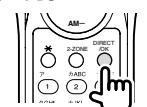
2（9回押す）

例：「h」を入力する場合（英小文字）

4（2回押す）

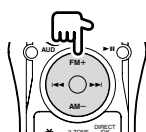
文字選択

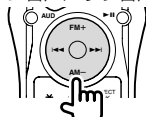
文字を順に切り替えます。

終了

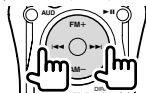
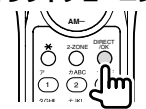
登録が完了します。

- SNPS/DNPSを開始するには、本体での操作が必要です。詳しい操作方法は「Name Set」（p26）をご覧ください。

TV

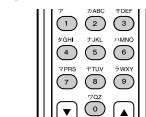
バンド／ビデオ切り替え

受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

音声多重切り替え

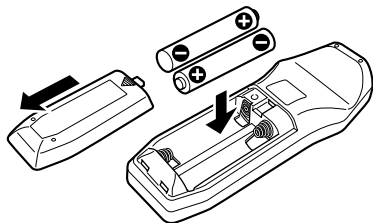
メイン音声／サブ音声を切り替えます。

チャンネル選択

受信するチャンネルを選択します。

ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：3chの場合（2桁）

テンキー

- メモリーされている放送局の番号を選択します。（1～6）
- ダイレクトチューニングキーに続けて、受信する放送局のチャンネルを指定します。

電池の入れかた

付属の電池（単三形2本）を＋/－の向きを正しく合わせて入れてください。

● 操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。
このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

オーディオファイル

本機は、オーディオファイル(AAC/MP3/WMA)をプレイできます。プレイできるオーディオファイルを記録したメディアやフォーマットに関して制限があります。オーディオファイルを書き込むときには、下記の点にご注意ください。
また、本機に表示できる文字の制限があります。下記をご参照ください。なお、記載されている文字数は、いずれも1バイト文字換算時の値です。

プレイできるオーディオファイル

本機でプレイできるオーディオファイルは、AAC、MP3、およびWMAファイルです。

- コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。
- エンコードソフトの設定やUSBデバイスの種類、記録状態によっては再生や表示ができない場合があります。
- 圧縮フォーマットがバージョンアップされたファイルや、仕様が追加されたファイルは再生できない場合があります。

プレイできるAACフォーマット

本機でプレイできるAACファイルは、拡張子が“.M4A”のAAC-LCフォーマットのものです。
詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。
URL：http://www.kenwood.mediamanager.jp

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG1 Audio Layer 3、MPEG 2 Audio LSP Layer 3規格のものです。

- サンプリング周波数
  ：16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 （kHz）
- ビットレート：8～320 （kbps）

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数：32, 44.1, 48 （kHz）
- ビットレート：48～192 （kbps）

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。
詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。
URL：http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

使用できるストレージ/メディア

使用できるストレージやメディアは、USBデバイス、CD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。本機では、CD-RWの簡易フォーマットで作成されたメディアはプレイできません。
また、使用できるUSBデバイスの詳細については、「USBデバイスについて」（p11）を参照してください。

使用できるCD-R/RWのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo

なお、ファイル名/フォルダ名は128文字まで表示が可能です。（区切り文字“.”と拡張子3文字を含みます）
使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。
ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：4096
- 最大フォルダ数：100

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

- USBデバイスの使用できるフォーマットについては、URL：http://www.kenwood.com/usb/をご覧ください。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

オーディオファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、CD-R/RWを使用する場合は、ライティングソフトやディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。

オーディオファイル(AAC/MP3/WMAファイル)には、おのおの“.M4A”、“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けてください。これらの拡張子が付いていないファイルはプレイできません。

- オーディオファイル以外のファイルに上記の拡張子を付けないでください。これらの拡張子を付けると、本機がオーディオファイルと誤認識してプレイしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

オーディオファイルの曲情報表示について

本機で表示できる曲情報は、曲名、アーティスト名およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語（シフトJIS）です。

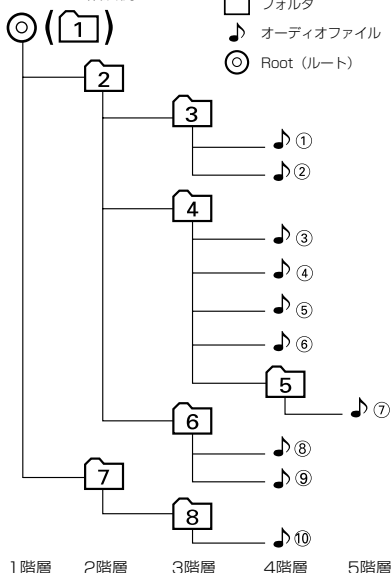
- MP3 ID3 Tagは、v1.0/1.1/2.3規格で記録された曲情報を30文字まで表示します。
- WMAコンテンツプロパティは30文字まで表示します。
- AACの曲情報は60文字まで表示します。

- AAC ID3 Tagは表示できません。
- USBデバイスで表示できる曲情報については、URL：http://www.kenwood.com/usb/をご覧ください。

オーディオファイルをプレイする順番

プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、メディアに書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

PCの使用環境にもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してから、CD-R/RWなどに書き込む、またはUSBデバイスにフォルダ単位でコピーすることでプレイする順番を設定できることがあります。

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

♪④再生中にファイルサーチを行うと…

♪④の最初 ➡ ♪③	♪⑤ ➡ ♪⑥

♪④再生中にフォルダサーチを行うと…

5 ➡ 6 ➡ 7 ➡ 8 ➡ 1 …	3 ➡ 2 ➡ 1 ➡ 8 …

♪④再生中にファイルセレクトを行うと…

♪③ ➡ ♪⑥ …	♪⑤ ➡ ♪⑥ ➡ ♪③ …

♪④再生中にフォルダセレクト1を行うと…

3	6	5	2

♪④再生中にフォルダセレクト2を行うと…

3 …	5 ➡ 6 ➡ 8 …

USBデバイス使用時のファイル管理について
USBデバイスを使用時は、パーティションを管理するためのフォルダが仮想的に発生します。パーティションのフォルダは、第一階層(root)の下階層に「#:」という名称で発生し、パーティションの順番に合わせて「#」が設定されます。
パーティションを作成していない場合も「A:」フォルダが発生し、そのフォルダ内にオーディオファイルが管理されます。

USBデバイス/CDメディアに書き込むファイルについて
オーディオファイルが収録されているUSBデバイス/CDメディアでは、最初にUSBデバイス/CDメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、プレイするUSBデバイス/CDメディアに多くのフォルダやオーディオファイル以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。
また、次のオーディオファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

Media Maneger

本機にはMedia Maneger PCアプリケーションソフトウェアのCD-ROMが付属しています。
Media ManegerであなただけのオリジナルCDやUSBデバイス(ACDriveメディア)が作れます。
アプリケーションソフトのインストール方法は、別冊 Media Maneger インストール説明書をご覧ください。

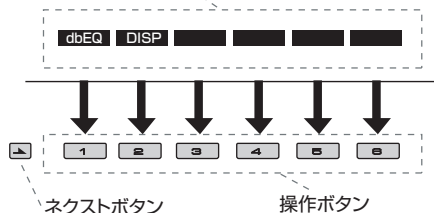
Media Managerの機能について

- 音楽CD の読み込みと集中管理
  お手持ちの音楽CD をパソコンに読み込んで保存します。また、他のパソコン等で作成した音楽ファイル等もMedia Manager の管理下に保存できます。
- 音楽情報の管理
  音楽CD を読み込むときに、GraceNote CDDBに自動的にアクセスして、アルバム/ 曲情報を取得してMedia Manager のデータベースに登録します。音楽情報は、必要に応じて変更できます。
  これにより、パソコンですべての音楽情報を一括管理できるようになります。
- ACDriveメディアの作成
  Media Manager が管理している曲の中から希望の曲をUSBデバイスやCDメディア(CD-R/CD-RW)に書き出すことができます。このACDriveメディアは、本機で演奏できます。

- Media Managerの取り扱いについてはCD-ROMに収録されている説明書およびアプリケーションヘルプを参照してください。
- Media Manager の機能や使用方法などについては、ケンウッド カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- Media Managerに関する最新の情報は、下記URLをご覧ください。
  URL：http://www.kenwood.mediamanager.jp
- Media Managerは米国 PhatNoise社の製品です。

マルチキーシステム

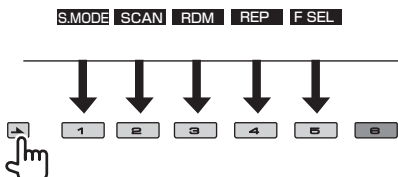
マルチキーシステムとは、１～６ボタンに割りあてられる機能をボタンで＜ディスプレイキーモード＞と＜ソースキーモードを切り替えるシステムです。
本書では、「Before CHECK」と記載されている機能は ボタンで対応のキーモードにしてから操作を行います。

マルチキー表示

<ディスプレイキーモード中の機能>
ディスプレイコントロールの設定やイコライザーカーブの調節ができます。

<ソースキーモード中の機能>
CDやチューナーなど、ソース別の機能を使うことができます。

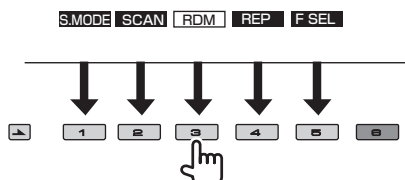
ソースキーモードの操作例

CDをプレイ中にランダムプレイをするときは…

1 <ソースキーモード>にします

- ＜ソースキーモード＞になっている場合は、手順２へ進みます。

2 ランダムプレイをオン/オフします

S.MODE SCAN RDM REP F SEL

1 2 3 4 5 6

押すたびにランダムプレイがオン/オフします。

- 詳しいランダムプレイの操作方法については「ランダムプレイ」（p20）を参照してください。

共通

? 電源がオンにならない

✔ ヒューズが切れている。
☛ コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。

✔ 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
☛ 「接続」（p74）を参照して正しく接続し直してください。

✔ セキュリティコードが設定されている。
☛ 設定したセキュリティコードを入力してください（p45）。

? 音が出ない/音が小さい

✔ フェダー、バランスが片方に寄っている。
☛ フェダーやバランスを正しく調整してください。

✔ 入出力ケーブルなどの接続が間違っている。
☛ 「接続」（p74）を参照して正しく接続し直してください。

✔ メニュー設定の“AMP”項目が“OFF”になっている。
☛ 「メニュー設定」（p42）の“AMP”項目を“ON”に設定してください。

? 操作ボタンを押しても動作しない

✔ 操作ボタンを押しても動作しない。
☛ リセットボタンを押してください。（p8）

? 音質が悪い（音がひずむ）

✔ 音量が大きすぎる。
☛ 音量を適正に調整してください。

✔ スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
☛ スピーカーの配線を確認してください。

✔ スピーカーの配線が間違っている。
☛ スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

? テキストの表示がスクロール途中で消える

✔ メニュー設定の“Display”項目をオフに設定している。
☛ 「Help?　Term」の“Display”項目（p68）を参照して、「メニュー設定」（p42）の“Display”項目を設定してください。

? チューナーの感度が悪い

✔ 自動車のアンテナが伸びていない。
☛ アンテナを十分に伸ばしてください。

✔ アンテナコントロール電源が接続されていない。
☛ 「接続」（p74）を参照して正しく接続し直してください。

✔ アンテナ入力がきちんと接続されていない。
☛ アンテナ入力を確実に接続してください。

? SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

✔ それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
☛ 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」（p74）を見て正しく接続してください。

✔ 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
☛ リセットボタンを押してください（p8）。

✔ 別売品ユニットの“O-N”スイッチを“O”側にしている。
☛ “O-N”スイッチは“N”側に設定してください。

✔ 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
☛ 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。（p8）

? 内蔵AUXを“OFF”に設定してもAUXソースに切り替わる

✔ 別売品のKCA-S210AのAUXスイッチがONになっている。
☛ KCA-S210Aに付属の取扱説明書を見てAUXスイッチをOFFにしてください。

? 接続したTVユニットでUSBソースに切り替えても、USBソースの表示・音声案内をしない

✔ TVユニットなどでは、USBソースはCDソースと認識されるため、CDソースの表示・音声案内がされている。
☛ CDソースからUSBソース、またはUSBソースからCDソースに切り替えたときは、表示は変わらず音声案内もされません。

ミュージックディスク

? SRCボタンを押してもディスクがプレイできない
✔ ディスクが入っていない。
☛ プレイするディスクを入れてください。

? ディスクが入らない
✔ すでにディスクが入っている。
☛ 入っているディスクを取り出してから入れてください。

? ディスクを取り出せない
✔ 車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。
☛ ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてから[⏏]（イジェクト）ボタンを押してください。

✔ ディスクがイジェクト途中で止まっている。
☛ [⏏]（イジェクト）ボタンをディスクが排出するまで押し続けてください。

? CDやオーディオファイルをプレイできない
✔ ディスクが裏返しになっている。
☛ レーベル面を上にして入れ直してください。

✔ ディスクが異常に汚れている。
☛ 「メディアの取り扱い」（p10）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

✔ 結露している。
☛ しばらく放置してから使用してください。（p9）

✔ ディスクが内部的に検出されていない。
☛ リセットボタンを押してディスクを取り出しから、再度ディスクを挿入してください。（p8）

? CD-R、CD-RWがプレイできない
✔ ファイナライズ処理を行っていない。
☛ CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

✔ CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。
☛ CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

? ディスクのプレイ中に振動で音が切れる
✔ 取り付け角度が30°を超えている。
☛ 30°以下になるように取り付けし直してください。

✔ 取り付けが不安定になっている。
☛ しっかりと取り付けし直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合、曲の同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

? STANDBYにするとCDやオーディオファイルがディスクの先頭へ戻る
✔ メニュー設定の“CD Read”項目を変更した。
☛ 「メニュー設定」（p42）の“CD Read”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。

✔ メニュー設定の“カンジ　ユウセン”項目を変更した。
☛ 「メニュー設定」（p42）の“カンジ　ユウセン”項目の設定を行うと１曲目の演奏に戻ります。

? 選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない
✔ ランダムプレイがオンになっている。
☛ ランダムプレイをオフにしてください。（p20）

? 同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない
✔ トラックリピートがオンになっている。
☛ トラックリピートをオフにしてください。（p22）

? 曲の先頭しかプレイされない
✔ スキャンプレイがオンになっている。
☛ スキャンプレイをオフにしてください。（p21）

? ディスクチェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない
✔ ディスクリピートプレイがオンになっている。
☛ ディスクリピートプレイをオフにしてください（p22）。

? 曲が順にプレイされない
✔ ランダムプレイがオンになっている。
☛ ランダムプレイをオフにしてください。（p20）

? ディスクが順に演奏されない

✔ マガジンランダムプレイがオンになっている。
☛ マガジンランダムプレイをオフにしてください(p20)。

? リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

✔ ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。
☛ 各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

? ダイレクトディスクサーチができない

✔ ディスクが1枚しか入っていない。
☛ マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

? マガジンランダムプレイができない

✔ ディスクが1枚しか入っていない。
☛ マガジンにディスクを2枚以上挿入してください。

? トラックサーチできない

✔ ディスクチェンジャー内でディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。
☛ ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

? CDテキストが表示されない

✔ 使用しているディスクチェンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで"O-N"スイッチがない。
☛ 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。

✔ 使用しているディスクチェンジャーの"O-N"スイッチを"O"にしている。
☛ ディスクチェンジャーの"O-N"スイッチを"N"にしてください。

? 文字がスクロールされない

✔ ディスクネームを表示しているため。
☛ スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名、アルバム名およびグループネームです。

オーディオファイル

? オーディオファイルがプレイできない

✔ オーディオファイルが本機で再生できる記録方式で記録されていない。
☛ 「Help? Audio file」(p58)を見て、本機で再生できる方式で記録しなおしてください。

✔ オーディオファイルに拡張子が付いてない。
☛ AACファイルには".M4A"、MP3ファイルには".MP3"、WMAファイルには".WMA"を付けてください。

✔ メニュー設定の"CD READ"項目を"2"に設定している。
☛ 「メニュー設定」(p42)を見て、"CD READ"項目を"1"に設定してください。

✔ ディスクに傷や汚れがある。
☛ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? オーディオファイルをプレイ中に音飛びする

✔ ディスクに傷や汚れがある。
☛ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

? オーディオファイルのディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

✔ オーディオファイル以外のファイルに".M4A"/".MP3"/".WMA"拡張子が付いている。
☛ オーディオファイル以外のファイルに付いている".M4A"/".MP3"/".WMA"拡張子を消去してください。

? フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

✔ ISO9660 level1/2、Joliet、またはRomeoに準拠して記録されていない。
☛ ISO9660 level1/2、Joliet、またはRomeo(p58)に準拠したディスクを使用してください。

✔ ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。
☛ ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

? 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

✔ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
☛ —

? オーディオファイルのディスクをプレイするまで時間がかかる

✔ ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

☛ 最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

? オーディオファイルが順番どおりにプレイされない

✔ プレイさせたい順番どおりにCDライティングソフトで書き込まれなかったため。

☛ CDライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”〜“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

✔ USBデバイスのフォルダ内にオーディオファイルを追加でコピーしたため。

☛ USBデバイスはコピーした順番に再生します。PCの環境により異なりますが、ファイル名の頭に“00”〜“99”などと入力してからフォルダ単位でコピーすることで順番を設定できる場合もあります。

? MP3 ID3 Tag情報が正しく表示されない

✔ MP3 ID3 tagがv1.0/1.1/2.3に準拠して記録されていない。

☛ MP3 ID3 tagをv1.0/1.1/2.3に準拠して記録してください。

? CD-RWに記録したオーディオファイルがプレイされない

✔ CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。

☛ CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。

USBデバイス

? USBデバイスを認識しない

✔ USBコネクターが抜けている。

☛ USBデバイスやUSBケーブルのコネクターを確実に接続してください。

? USBデバイスのオーディオファイルの音が出なくなった

✔ USBコネクターが抜けている。

☛ USBデバイスやUSBケーブルのコネクターを確実に接続してください。

オーディオコントロール

? オーディオコントロールのSub-W Level項目が表示されない

✔ メニュー設定の“SWPRE”項目が“Rear”に設定している。

☛ 「メニュー設定」（p42）の“SWPRE”項目を“Sub-W”に設定してください。

✔ サブウーファー出力をオフに設定している。

☛ 「サブウーファー出力コントロール」（p33）の“SW ON”に設定してください。

✔ デュアルゾーン機能をオンに設定している。

☛ 「オーディオセットアップ」（p30）の“2 ZONE”項目を“OFF”に設定してください。

? オーディオセットアップのLPF-SW FC/SW Phase項目が表示されない

✔ メニュー設定の“SWPRE”項目が“Rear”に設定している。

☛ 「メニュー設定」（p42）の“SWPRE”項目を“Sub-W”に設定してください。

✔ サブウーファー出力をオフに設定している。

☛ 「サブウーファー出力コントロール」（p33）の“SW ON”に設定してください。

ネームセット

? DNPSができない

✔ マガジンランダムプレイがオンになっている。

☛ マガジンランダムプレイを解除してください。

? 登録したはずのステーションネームが消えた

✔ 31局目のステーションネームを登録した。

☛ 登録できるステーションネームは30局分です。

✔ 本機をバッテリーから外したため。

☛ 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

? 登録したはずのディスクネームが消えた

✔ 51枚目のディスクネームを登録した。

☛ 登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて50枚分です。

✔ 本機をバッテリーから外したため。

☛ 本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

? 設定したはずのAUXネームが“AUX”/“AUX EXT”に戻る

✔ 本機をバッテリーから外したため。

☛ 本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX”/“AUX EXT”に戻ります。

? ディスクネームがまちがって表示される

✔ 総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

☛ 識別する方法はありません。

Menu

? セキュリティコード項目が表示されない

✔ すでにセキュリティコードを設定してある。

☛ セキュリティコードを一度設定すると“Security Set”は“Security Clear”に変わります。

✔ メニュー設定の“DEMO Mode”項目が“ON”に設定している。

☛ 「メニュー設定」（p42）の“DEMO Mode”項目を“OFF”に設定してください。

? セキュリティコードを忘れた

✔ セキュリティコードを調べることはできません。

☛ ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

? ディスプレイの明るさが切り替わらない

✔ イルミネーションコードが接続されていない。

☛ 「接続」（p74）を参照して正しく接続し直してください。

✔ メニュー設定の“Dimmer”項目が“OFF”に設定している。

☛ 「メニュー設定」（p42）の“Dimmer”項目を“ON”に設定してください。

? 画像のダウンロードができない

✔ CD-R/CD-RW/USBデバイスの作成方法に原因があることがあります。

☛ 『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧になり、CD-R/CD-RW/USBデバイスを作成し直してください。

共通

AAC（エーエーシー）

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。
また、詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。
URL：http://www.kenwood.mediamanager.jp

ACDriveメディア（エーシードライブメディア）

Media Manager で作成したCD-R/CD-RW/USBデバイスです。プレイモード、ボイスインデックス（アナウンス機能）など本機に付属のPCアプリケーションソフトウェアで多彩な機能を追加できます。

KSF（ケイエスエフ）

外部接続された別売品のHDX-710などのハードディスクに記録されている音楽ファイルです。

LX BUS TVモニター（エルエックスバステレビモニター）

外部接続された別売品のテレビモニターやナビゲーションシステム（HDX-710など）です。

MP3（エムピースリー）

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。

WMA（Windows Media™ Audio）

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? Audio file」（p58）をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など）やマルチメディアプレーヤー（VD-C77）です。

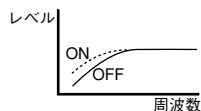
オーディオコントロール

2 ZONE（デュアルゾーン）

デュアルゾーン機能とは、メインソースとサブソース（AUX入力）をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力する機能です。この機能のオン/オフを設定します。

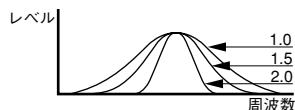
- 内蔵AUX(サブソース)は、「メニュー設定」（p42）の“Zone 2”項目で設定します。
- メインソースは「ソースを切り替えます」（p13）で設定します。
- フロントの音量はVOLで調節します。
- リアの音量は「音質などを調整します」（p13）の“Rear Volume”またはリモートコントローラーの“R.VOL”（p54）で調節します。

Bass EXT（バスエキステンデッド）

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

Bass FRQ/Middle FRQ/Treble FRQ（バスフリケンシィ/ミドルフリケンシィ/トレブルフリケンシィ）

低音、中音、高音を調節する周波数（中心周波数）を、この機能を使って設定することができます。

Bass Q Factor/Middle Q Factor（クォリティファクタ）

低音、中音の調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。

HPF-F Fc/HPF-R Fc（ハイパスフィルター）

設定された周波数（カットオフ周波数）よりも低い成分をカットします。
プリアウトをサブウーファーように使用するときに、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。“Through”に設定すると、この機能をオフにできます。
本機では、ハイパスフィルターをフロントスピーカー（HPF-F Fc）とリアスピーカー（HPF-R Fc）に独立して設定できます。

LPF-SW（ローパスフィルター）
設定された周波数（カットオフ周波数）よりも高い成分をカットします。
プリアウトをサブウーファーように使用するときに、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“Through”に設定すると、この機能をオフにできます。

NAV Volume（ナビ音量）
カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の音量を設定できます。

Rear Volume（リア音量）
デュアルゾーン機能使用時の、リア側の音量を調整します。

Sub-W Level（サブウーファー音量）
サブウーファーの音量を調整します。

SW Phase（サブウーファーフェイズ）
サブウーファーの位相（正相/逆相）を設定します。

Vol-Offset（ボリュームオフセット）
各ソースごとの音量の差を調整します。
これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

Menu

ACD F/W Version（ACDriveファームウェアバージョン）
ドライブユニットのファームウェアのバージョンを表示します。

ACD Unique ID（ACDriveユニークアイディ）
ドライブユニットの製造番号を表示します。

AMP（内蔵アンプ出力）
内蔵アンプの出力をオン/オフします。
フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“Off”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。
内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクォリティをアップさせることができます。

BEEP（ビープ）
ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。
なお、ビープ音はプリアウトからは出力されません。

Built in AUX（内蔵AUX入力）
AUX端子は、ビデオ/ナビなどの外部機器の音声を本機に入力する端子です。
この機能は、内蔵AUX端子への音声入力をオン/オフします。
この機能をオンにすると、AUX端子から入力された音声は、AUXソースに切り替えることにより、本機で聴くことができます。
また、デュアルゾーン機能を使って、他のソースと同時に出力することもできます。
使用しないときはオフにしておいてください。

CD Read（CDリード）
CDの読み込み方法を設定します。
特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。
1：ディスクのプレイ時にオーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。
2：音楽CDとして強制的にプレイします。

Dimmer（ディマー）
車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

Display
本機の操作を5秒間行わないと、ディスプレイを消すことができます。これにより、車両ウィンドウへのディスプレイの写り込みを防ぐことができます。
ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。
下記の操作は、ディスプレイが消えたままになります。
ボリューム、アッテネーター、ソースの切り替え、ディスクの取り出し、操作パネルの角度調節、電源を切る

DSI（ディセイブルシステムインジケーター）
セキュリティインジケータをオン/オフします。
この機能をオンにしておくと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

MONO（モノラル設定）
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。
受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

Name Set（ネームセット）
FM/AM（ラジオ）ソースでは、放送局に名前を付けます(SNPS)。
CDソースでは、ディスクに名前を付けます(DNPS)。
AUXソースでは、AUXソースの名前を変更できます（AUXネーム）。

NAV Guide（ナビガイド）
カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。
ATT: ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。
INT: ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。
この機能を"INT"に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」（p74）を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。
ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。
また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。
なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

Scroll（スクロール）
ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダネーム、ファイルネーム、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。
この機能を"Auto"に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、"Manual"に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

Security Set（セキュリティコードセット）/ Security Clear（セキュリティコードクリア）
セキュリティコードを設定/解除します。
セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

Seek Mode（チューニングモード）
放送局の探し方を設定することができます。
Auto1: 受信状態の良い放送局を自動的に選びます。
Auto2: メモリーされている放送局を番号順に受信します。
Manual: 1ステップずつ周波数が変わります。

SWPRE（プリアウト）
リアプリアウトをサブウーファー用出力（"Sub-W"）に切り替えます。

Voice Index（ボイスインデックス）
Media Managerで作成したACDriveメディアの音声ガイドを再生します。

Zone 2（ゾーン2）
デュアルゾーン機能がオンのときのサブソース（内蔵AUX入力）の出力先（フロントスピーカーまたはリアスピーカー）を設定します。

カンジ ユウセン
CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するか設定ができます。
ON: 漢字で表示(漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示)
OFF: カタカナまたは英/数文字で表示

Help?

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

TOC Error :
- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。
- ディスクチェンジャーにディスクが入っていません。
- ディスクチェンジャーにトレイが入っていません。

Error 05 :
ディスクが裏返しです。

Read Error :
- 接続しているUSBデバイスに、制限されている数を超えるファイルやフォルダが記録されている。
- 接続しているUSBデバイスのファイルシステムが破損している。

➡ URL：http://www.kenwood.mediamanager.jp をご覧になり、USBデバイスのファイル、フォルダをコピーしなおしてください。その後もエラー表示が消えない場合は、 USBデバイスをフォーマットするか、他のUSBデバイスを使用してください。

Eject :
- ディスクマガジンがセットされていません。
- ディスクマガジンが完全に入っていません。
など

No Disc :
ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。

Unsupported File :
サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとしました。

Copy Protection :
プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

No Track Disc :
演奏しようとしたMDに何も録音されていません。

Blank Disc :
演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていません。

Error 12 :
演奏しようとしたMDがデータ用MDです。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

Error 77 :
何らかの原因で正常に動作していない。

➡ 本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Hold Error :
ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

➡ ディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

IN インジケーター（点滅）：
CDプレーヤーが正常に動作していない。

➡ CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

Error 99 :
何らかの原因で正常に動作していない。

➡ [⏏]（イジェクト）ボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Load（点滅）：
ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

Reading :
ディスクに収録されているデータのチェック中です。

Protect（点滅）：
スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。

➡ スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。

Security ---- :
セキュリティコード入力要求表示です。

DEMO MODE（点滅）：
本機の機能をディスプレイに表示するデモンストレーションモード中です。解除するにはデモンストレーションモードをオフ（p49）にしてください。

No Device：

USBデバイスが接続されていないときにUSBソースにした。

➡ USBソース以外のソースにした後、USBデバイスを接続し、再びUSBソースに切り替えてください。

N/A Device：

サポートされていないUSBデバイスを接続した。

➡ サポートされているUSBデバイスについては「USBデバイスについて」（p11）を参照してください。

No Music Data または Error 15：

挿入したCDまたは接続されているUSBデバイス内には、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

USB Error：

- 供給できる電流容量を超えたUSBデバイスが接続されています。

➡ サポートされているUSBデバイスについては「USBデバイスについて」（p11）を参照してください。

- 接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。

➡ USBデバイスを取り外し、接続しなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

画像のダウンロード中の異常を以下のように表示してお知らせします。

Can't Dawnload または Download Error：

- ファイルのダウンロード中に読み込みに失敗した。

➡ 再度ダウンロードを行ってください。

- 何らかの原因で正常に動作していない。

➡ 再度ダウンロードを行ってください。再度、表示される場合はお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

No Display File：

CD-R/CD-RW/USBデバイスにダウンロードが可能なファイルがない。

➡ 『http://www.kenwood.net-disp.com』で作成したCD-R/CD-RW/USBデバイスにダウンロード可能なファイルが入っていることを確認してください。なお、作成時についている拡張子（.kbmまたは.KBM）は削除しないでください。

Incorrect File：

使用できないフォーマットのファイルをダウンロードしようとした。

➡ CD-R/CD-RW/USBデバイスを作成し直してください。

Writing Error：

ファイルの書き込みに失敗した。

➡ 再度ダウンロードを行ってください。

No Media：

CD-R/CD-RWを挿入してない、またはUSBデバイスを接続していないときに画像のダウンロードを開始した。

➡ CD-R/CD-RWを挿入、またはUSBデバイスを接続してください。

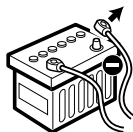
取り付け時のご注意

⚠警告

禁 止

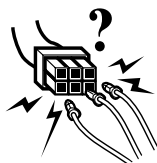
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。

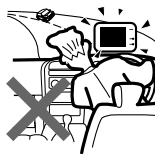
実 施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。

実 施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。

禁 止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

禁 止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

実 施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

禁 止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

禁 止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。

実 施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

実 施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

注 意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。

実 施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

注 意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

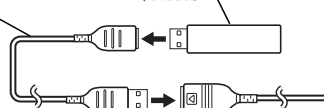
実 施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

実 施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

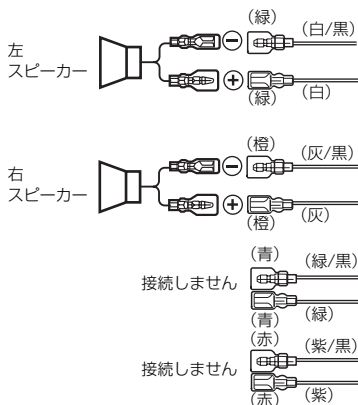
1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。

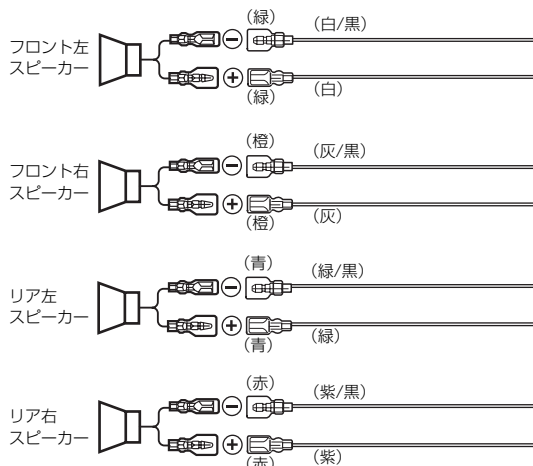
- USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX（別売品）の使用を推奨します。詳しくは「USBデバイスについて」（p11）をご覧ください。

注 意

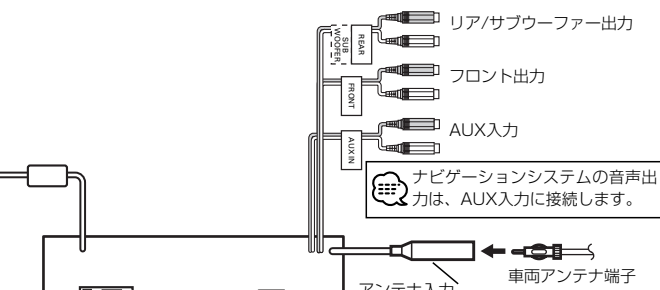
USBケーブルを接続しないときは、キャップを外さないでください。コネクター部が車の金属部分に接触すると、本機の誤動作の原因になります。

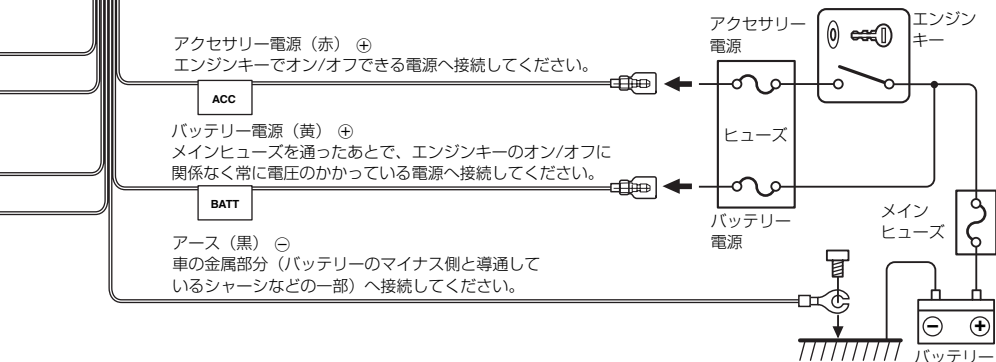
注 意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法

注 意

接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

注 意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
別売品のKCA-S210Aを接続する場合は、KCA-S210A付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、「メニュー設定」（p42）を参照して、“SWPRE”項目を“Sub-W”に設定してください。
リア/サブウーファー出力
REAR
SUB WOOFER
フロント出力
FRONT
AUX入力
AUX IN
ナビゲーションシステムの音声出力は、AUX入力に接続します。
KCA-S210A（別売品）を使ってLX BUS TVモニターを接続する場合
HDX-710などは、KCA-S210Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。
HDX-710などでナビ音声ガイドの割り込みを行う場合は「メニュー設定」（p42）の“NAV Guide”項目を“INT”にして、LX BUSケーブルを接続してください。
車両アンテナ端子
アンテナ入力
外部機器接続端子
別売品のディスクチェンジャーやLX-BUS製品、KCA-iP500などが接続できます。詳しい接続のしかたは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
電源ハーネス（付属）
パワーコントロール（青/白）
P.CONT
別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
アンテナコントロール（青）
ANT CONT
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。
イルミネーション（橙/白）
ILLUMI
車両のイルミネーション電源端子に接続してください。
ミュート入力（茶）
MUTE
ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。
注意
ミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」（p42）の“NAV Guide”項目を“OFF”に設定してください。
アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。
ACC
アクセサリー電源
エンジンキー
ヒューズ
バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。
BATT
バッテリー電源
メインヒューズ
アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。
バッテリー

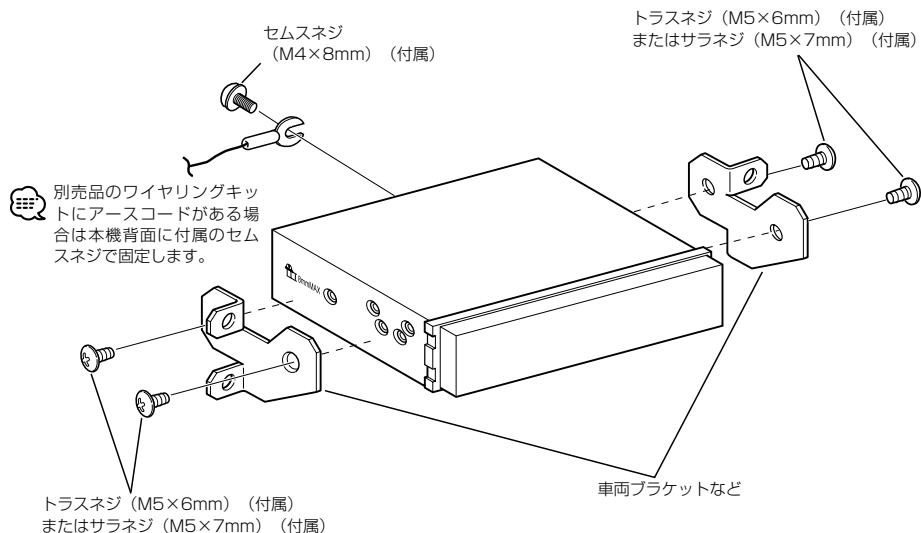
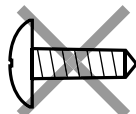
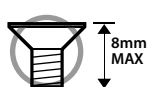
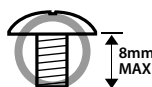
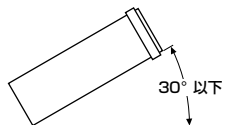
接続

取り付け

付属のトラスネジ（M5×6mm）またはサラネジ（M5×7mm）を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
サラネジ (M5 × 7 mm)	4
セムスネジ (M4 × 8 mm)	1

注 意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。
なお、取り付けネジはトラスネジまたはサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

注 意

- **本機の取り付け角度は30˚以下になるように取り付けてください。30˚以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。**
- **操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。**

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証について

● **保証書**

この製品には、保証書を添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● **保証期間**

お買上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help?　Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● **保証期間中は…**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間経過後は…**

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● **持込修理**

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
（本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● **修理料金のしくみ**（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：**故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。**
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：**修理に使用した部品代です。**
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：76.0 MHz～90.0 MHz（100 kHz）
実用感度（S/N : 30 dB）
：9.3 dBf（0.8 μV/75 Ω）
S/N 50 dB感度
：15.2 dBf（1.6 μV/75 Ω）
周波数特性（±3.0 dB）
：30 Hz～15 kHz
S/N比
：70 dB （MONO）
選択度（±400 kHz）
：80 dB以上
ステレオセパレーション
：40 dB（1 kHz）

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）
：522 kHz～1629 kHz（9 kHz）
感度
：28 dBμ（25 μV）

CDプレーヤー部

レーザーダイオード
：GaAlAs
デジタルフィルター（D/A）
：8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター
：1Bit
回転数（オーディオファイル）
：1000～400 rpm（線速度一定・倍速）
ワウ& フラッター
：測定限界以下
周波数特性
：10 Hz～20 kHz（±1 dB）
高調波歪率
：0.008 % （1 kHz）
S/N比
：110 dB （1 kHz）
ダイナミックレンジ
：93 dB
MP3デコード
：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード
：Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード
：AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

USB I/F部

USB規格
：USB 1.1/2.0
最大供給電流
：500 mA
ファイルシステム
：FAT16/32
MP3デコード
：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード
：Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード
：AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

AUX入力

周波数特性
：20 Hz～20 kHz （±1 dB）
最大入力電圧
：1200 mV
入力インピーダンス
：100 kΩ

オーディオ部

最大出力
：50 W × 4
定格出力
：30 W × 4（4Ω、1kHz、10%THD以下）
スピーカーインピーダンス
：4～8 Ω
プリアウトレベル（CD/CD-CH）
：2500 mV/10 kΩ
プリアウトインピーダンス
：600 Ω以下
オーディオコントロール
バス：100 Hz ± 8 dB
ミドル：1 kHz ± 8 dB
トレブル：10 kHz ± 8 dB

電源部

電源電圧
：14.4 V （11～16 V）
最大消費電流
：10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）
：178 × 50 × 160 mm
質量（重さ）
：1.5 kg

付属部品

電源ハーネス
：1本
トラスネジ（M5 × 6 mm）
：4本
サラネジ（M5 × 7 mm）
：4本
セムスネジ（M4 × 8 mm）
：1本
リモコン
：1個
乾電池
：2個（単３型）
Media Maneger
CD-ROM：1枚
インストール説明書：1冊

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

● 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル　0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133
FAX　045-933-5553
住所　〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間　9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）

● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。